第27回　歯科衛生士　国家試験問題　解答

午前問題								午後問題							
No.	解答	出題基準	科目	No.	解答	出題基準	科目	No.	解答	出題基準	科目	No.	解答	出題基準	科目
1	b	2	解剖学	56	c	6	小児歯科学	1	c	1	解剖学	56	a	6	小児歯科学
2	b	1	解剖学	57	b	6	小児歯科学	2	d	2	解剖学	57	b	6	小児歯科学
3	a	2	解剖学	58	a	6	高齢者・障害者	3	d	2	解剖学	58	bd	6	小児歯科学
4	a	2	解剖学	59	ac	6	高齢者・障害者	4	b	2	解剖学	59	c	6	高齢者・障害者
5	a	1	生化学	60	ab	6	高齢者・障害者	5	d	1	生化学	60	ac	6	高齢者・障害者
6	b	1	生化学	61	b	6	高齢者・障害者	6	a	2	生化学	61	b	6	高齢者・障害者
7	a	1	生理学	62	cd	6	高齢者・障害者	7	b	2	生理学	62	ad	6	高齢者・障害者
8	d	1	生理学	63	b	7	歯科予防処置	8	c	3	病理学	63	bd	7	歯科予防処置
9	a	3	病理学	64	ab	7	歯科予防処置	9	b	3	病理学	64	cd	7	歯科予防処置
10	b	3	病理学	65	ad	7	歯科予防処置	10	abcd	3	病理学	65	b	7	歯科予防処置
11	d	3	微生物学	66	ad	7	歯科予防処置	11	c	3	微生物学	66	ad	7	歯科予防処置
12	b	3	微生物学	67	ad	7	歯科予防処置	12	d	3	微生物学	67	ac	7	歯科予防処置
13	b	3	微生物学	68	a	7	歯科予防処置	13	b	3	薬理学	68	cd	7	歯科予防処置
14	c	3	薬理学	69	cd	7	歯科予防処置	14	c	3	薬理学	69	a	7	歯科予防処置
15	a	3	薬理学	70	a	7	歯科予防処置	15	b	3	薬理学	70	c	7	歯科予防処置
16	a	4	口腔衛生学	71	d	7	歯科予防処置	16	d	4	口腔衛生学	71	ab	7	歯科予防処置
17	c	4	口腔衛生学	72	cd	7	歯科予防処置	17	d	4	口腔衛生学	72	ab	7	歯科予防処置
18	b	4	口腔衛生学	73	c	7	歯科予防処置	18	c	4	口腔衛生学	73	a	7	歯科予防処置
19	ab	4	口腔衛生学	74	b	7	歯科予防処置	19	cd	4	口腔衛生学	74	c	7	歯科予防処置
20	c	4	口腔衛生学	75	a	7	歯科予防処置	20	a	4	口腔衛生学	75	c	7	歯科予防処置
21	a	4	口腔衛生学	76	ad	7	歯科予防処置	21	c	4	口腔衛生学	76	b	7	歯科予防処置
22	d	4	口腔衛生学	77	ad	7	歯科予防処置	22	ad	4	口腔衛生学	77	cd	7	歯科予防処置
23	b	4	衛生・公衆衛生学	78	d	7	歯科予防処置	23	ad	4	口腔衛生学	78	ab	8	歯科保健指導
24	c	4	衛生・公衆衛生学	79	d	8	歯科保健指導	24	d	4	衛生・公衆衛生学	79	bd	8	歯科保健指導
25	d	4	衛生・公衆衛生学	80	bd	8	歯科保健指導	25	d	4	衛生・公衆衛生学	80	c	8	歯科保健指導
26	d	4	衛生・公衆衛生学	81	bcd	8	歯科保健指導	26	a	4	衛生・公衆衛生学	81	ab	8	歯科保健指導
27	a	4	衛生・公衆衛生学	82	cd	8	歯科保健指導	27	d	4	衛生・公衆衛生学	82	cd	8	歯科保健指導
28	b	4	衛生・公衆衛生学	83	c	8	歯科保健指導	28	a	4	衛生・公衆衛生学	83	ad	8	歯科保健指導
29	ab	4	衛生・公衆衛生学	84	c	8	歯科保健指導	29	d	4	衛生・公衆衛生学	84	bd	8	歯科保健指導
30	b	4	衛生・公衆衛生学	85	bd	8	歯科保健指導	30	a	4	衛生・公衆衛生学	85	bd	8	歯科保健指導
31	ad	5	歯科衛生士概論	86	ab	8	歯科保健指導	31	a	5	歯科衛生士概論	86	a	8	歯科保健指導
32	bc	5	歯科衛生士概論	87	bd	8	歯科保健指導	32	b	5	歯科衛生士概論	87	bd	8	歯科保健指導
33	cd	5	歯科衛生士概論	88	c	8	歯科保健指導	33	a	5	歯科衛生士概論	88	ad	8	歯科保健指導
34	a	5	歯科衛生士概論	89	ad	8	歯科保健指導	34	a	6	臨床歯科総論	89	bc	8	歯科保健指導
35	d	6	臨床歯科総論	90	b	8	歯科保健指導	35	bc	6	臨床歯科総論	90	ad	8	歯科保健指導
36	d	6	臨床歯科総論	91	bc	8	歯科保健指導	36	bc	6	臨床歯科総論	91	b	8	歯科保健指導
37	ab	6	臨床歯科総論	92	bd	8	歯科保健指導	37	ac	6	臨床歯科総論	92	b	8	歯科保健指導
38	b	6	保存修復学	93	c	8	歯科保健指導	38	d	6	保存修復学	93	c	8	歯科保健指導
39	cd	6	保存修復学	94	b	8	歯科保健指導	39	d	6	保存修復学	94	ac	8	歯科保健指導
40	b	6	歯内療法学	95	bd	8	歯科保健指導	40	ac	6	歯内療法学	95	d	8	歯科保健指導
41	a	6	歯内療法学	96	a	9	歯科診療補助	41	c	6	歯内療法学	96	ab	9	歯科診療補助
42	ab	6	保存修復学	97	cd	9	歯科診療補助	42	a	6	歯周療法学	97	a	9	歯科診療補助
43	ac	6	歯周療法学	98	d	9	歯科診療補助	43	bd	6	歯周療法学	98	b	9	歯科診療補助
44	d	6	歯周療法学	99	bc	9	歯科診療補助	44	ad	6	歯周療法学	99	ab	9	歯科診療補助
45	d	6	歯科補綴学	100	ad	9	歯科診療補助	45	ab	6	歯周療法学	100	d	9	歯科診療補助
46	ac	6	歯科補綴学	101	b	9	歯科診療補助	46	c	6	歯科補綴学	101	bc	9	歯科診療補助
47	c	6	歯科補綴学	102	bc	9	歯科診療補助	47	bd	6	歯科補綴学	102	d	9	歯科診療補助
48	a	6	歯科補綴学	103	bc	9	歯科診療補助	48	b	6	歯科補綴学	103	c	9	歯科診療補助
49	ab	6	口腔外科学	104	ab	9	歯科診療補助	49	b	6	口腔外科学	104	d	9	歯科診療補助
50	c	6	口腔外科学	105	b	9	歯科診療補助	50	ac	6	口腔外科学	105	c	9	歯科診療補助
51	d	6	口腔外科学	106	bc	9	歯科診療補助	51	bd	6	口腔外科学	106	d	9	歯科診療補助
52	b	6	矯正歯科学	107	c	9	歯科診療補助	52	d	6	口腔外科学	107	a	9	歯科診療補助
53	a	6	矯正歯科学	108	ab	9	歯科診療補助	53	b	6	矯正歯科学	108	bc	9	歯科診療補助
54	bd	6	矯正歯科学	109	ab	9	歯科診療補助	54	cd	6	矯正歯科学	109	b	9	歯科診療補助
55	c	6	矯正歯科学	110	ac	9	歯科診療補助	55	c	6	矯正歯科学	110	b	9	歯科診療補助

午前問題 81 番　bc、bd、cd　3通りの解答を正解とする。3つの選択肢が正解であるため。

午後問題 10 番　a、b、c、d　複数の選択肢を正解として採点する。複数の正解があるため。

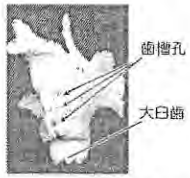
※出題基準
1　人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能
2　歯・口腔の構造と機能
3　疾病の成り立ち及び回復過程の促進
4　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
5　歯科衛生士概論
6　臨床歯科医学
7　歯科予防処置論
8　歯科保健指導論
9　歯科診療補助論

解説（午前問題）

（問題　1） 上顎骨後面の写真（別冊午前 No.1）を別に示す。
矢印で示すのはどれか。
a　正円孔
b　歯槽孔
c　大口蓋孔
d　小口蓋孔

別冊 午前 No.1

選択肢考察　　**答え　b**



×a　正円孔は蝶形骨に存在し、上顎神経が通る。
○b　矢印が示しているのは歯槽孔である。後上歯槽動静脈、上顎神経の後上歯槽枝が通る。
×c　大口蓋孔は口蓋骨に存在し、大口蓋動静脈・神経が通る。
×d　小口蓋孔は口蓋骨に存在し、小口蓋動静脈・神経が通る。

（問題　2） 外分泌腺と内分泌腺の両方の構造をもつのはどれか。
a　副　腎
b　膵　臓
c　甲状腺
d　下垂体

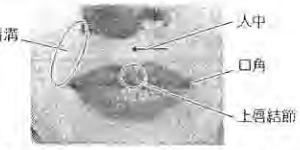
選択肢考察　　**答え　b**

×a　副腎は皮質と髄質にわけられる。副腎皮質ホルモン（電解質コルチコイド、糖質コルチコイド）と副腎髄質ホルモン（ノルアドレナリンとアドレナリン）を分泌する内分泌腺である。
○b　膵臓は十二指腸へ消化液を分泌する外分泌腺とランゲルハンス島からホルモン（グルカゴン、インスリン）を分泌する内分泌腺の両方の構造をもつ。
×c　甲状腺はサイロキシンやカルシトニンを分泌する内分泌腺である。
×d　下垂体は前葉と後葉にわけられる。下垂体前葉ホルモン（成長ホルモン、乳腺刺激ホルモン（プロラクチン）、甲状腺刺激ホルモン、副腎皮質刺激ホルモン、卵胞刺激ホルモン、黄体形成ホルモン）と下垂体後葉ホルモン（バソプレッシン、オキシトシン）を分泌する内分泌腺である。

（問題　3） 下顔面の写真（別冊午前 No.2）を別に示す。
矢印で示すのはどれか。
a　人　中
b　口　角
c　鼻唇溝
d　上唇結節

別冊 午前 No.2

選択肢考察　　**答え　a**



○a　上唇の正中上部（矢印）は人中とよばれる。
×b　口角とは上唇と下唇の両脇にみられる接合部である。
×c　鼻唇溝とは上唇と頬の境にみられる浅い溝である。
×d　上唇結節とは上唇の正中にみられる隆起である。

（問題　4） 下顎骨の写真（別冊午前 No.3）を別に示す。
矢印で示す孔から出る神経の役割はどれか。
a　下唇の感覚
b　口輪筋の運動
c　顎下腺の分泌
d　下顎前歯部歯肉の感覚

別冊 午前 No.3

選択肢考察　　**答え　a**

○a　矢印のオトガイ孔から出るのはオトガイ神経で、下唇の感覚を支配する。
×b　口輪筋の運動を支配するのは顔面神経である。
×c　顎下腺の分泌を支配するのは顔面神経である。
×d　下顎前歯部の歯や歯肉の感覚を支配するのは下歯槽神経である。

（問題　5） 血糖値を低下させるのはどれか。
a　インスリン
b　グルカゴン
c　アドレナリン
d　サイロキシン

選択肢考察　　**答え　a**

○a　インスリンは膵臓Ｂ細胞から分泌されるホルモンで血糖値を低下させる。
×b　グルカゴンは膵臓Ａ細胞から分泌されるホルモンで血糖値を上昇させる。
×c　アドレナリンは副腎髄質から分泌されるホルモンで血糖値を上昇させる。
×d　サイロキシンは甲状腺から分泌されるホルモンで基礎代謝を促進させる。

〔問題　6〕　炭酸－重炭酸塩緩衝系の化学反応式を示す。

$$CO_2 + H_2O \underset{①}{\rightleftarrows} H_2CO_3 \rightleftarrows H^+ + HCO_3^-$$

①の反応を触媒するのはどれか。
a　アルドラーゼ
b　炭酸脱水酵素
c　コハク酸脱水素酵素
d　アルカリフォスファターゼ

選択肢考察　　答え　b
×a　アルドラーゼはフルクトース 1,6-2 リン酸〈FDP〉を D-グリセルアルデヒド 3- リン酸〈GAP〉とジヒドロキシアセトンリン酸〈DHAP〉に可逆的に分解する解糖系酵素である。
○b　炭酸脱水酵素は CO_2 と H_2O を H^+ と HCO_3^- に変換する酵素である。
×c　コハク酸脱水素酵素〈コハク酸デヒドロゲナーゼ〉は基質であるコハク酸から水素を奪い、フマル酸へ酸化する酸化還元酵素である。
×d　アルカリフォスファターゼ〈ALP〉は、アルカリ性の状況下でリン酸化合物を分解する酵素である。肝臓や骨、小腸、胎盤などに多く含まれ、これらの臓器に異常があると血液検査で高値を示す。

〔問題　7〕　線溶系で血栓を溶解するのはどれか。
a　プラスミン
b　カリクレイン
c　プロトロンビン
d　フィブリノゲン

選択肢考察　　答え　a
○a　プラスミンとはフィブリンを溶解するタンパク質分解酵素である。血漿や組織中に存在するフィブリノキナーゼによって、不活性型のプラスミノーゲンから生成される。
×b　カリクレインはキニノゲナーゼともいう。タンパク質分解酵素〈プロテアーゼ〉の一種で、キニノーゲンに作用してブラジキニンやカリジンを生成する。
×c　プロトロンビンとは血液凝固の第Ⅱ因子である。肝臓で生合成され、トロンボプラスチンやカルシウムイオンの作用を受けて活性型のトロンビンとなる。
×d　フィブリノゲンとは血液凝固の第 1 因子である。トロンビンの作用により不溶性のフィブリンに変化することで血液凝固作用を有するようになる。

〔問題　8〕　老化に伴い値が大きくなるのはどれか。
a　筋肉量
b　骨密度
c　基礎代謝量
d　収縮期血圧

選択肢考察　　答え　d
×a　老化に伴い筋肉量は減少する。
×b　老化に伴い骨密度は減少する。
×c　老化に伴い基礎代謝量は減少する。
○d　老化に伴い収縮期血圧〈最高血圧〉は増加する。

〔問題　9〕　単一遺伝子病はどれか。
a　血友病
b　歯周病
c　唇顎口蓋裂
d　ダウン症候群

選択肢考察　　答え　a
○a　血友病は単一遺伝子病である。
×b　歯周病は遺伝性疾患ではない。
×c　唇顎口蓋裂は多因子遺伝子病と考えられている。
×d　ダウン症候群は染色体異常〈配偶子病〉である。

〔問題　10〕　［　　］に入るのはどれか。
免疫原性を持たないガラス片が生体内に入り込むと、それを肉芽組織が取り囲み、さらに線維化して周囲組織から隔離する。この機転を［　　］という。
a　石灰化
b　被包化
c　血栓形成
d　補体活性化

選択肢考察　　答え　b
×a　石灰化とは組織にカルシウム塩が沈着する現象のことをいう。
○b　金属片やガラス片などの異物が生体に入り込むと、それを肉芽組織が取り囲み、さらに線維化することで異物を包み込んで、周囲組織から隔離する機転を被包化という。
×c　血栓形成とは血管内に血液凝固物が形成されることをいう。
×d　抗原抗体複合物と結合すると補体は活性化され、溶菌や細胞溶解反応が起きる。

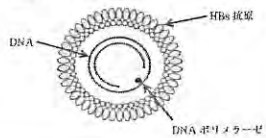
〔問題　11〕　ある微生物のグラム染色像〈別冊午前 No.4〉を別に示す。
この微生物が原因と考えられるのはどれか。
a　結　核
b　梅　毒
c　赤　痢
d　食中毒

別冊 午前 No.4

選択肢考察　　答え　d

×a　結核菌はグラム陽性桿菌である。
×b　梅毒トレポネーマはスピロヘータの 1 つでらせん状をした菌である。
×c　赤痢菌はグラム陰性桿菌である。
○d　図中の微生物は青色に染色されているのでグラム陽性のブドウ球菌と考えられる。黄色ブドウ球菌は毒素型食中毒の原因である。

〔問題　12〕　あるウイルスの構造を図に示す。
このウイルスの感染経路はどれか。
a　空　気
b　血　液
c　経　口
d　飛　沫



選択肢考察　　答え　b
×a、○b、×c、×d
HBs 抗原が記されているので、図は B 型肝炎ウイルス〈HBV〉である。B 型肝炎ウイルスは血液を介して感染する。

〔問題　13〕　運動性を有するのはどれか。
a　*Tannerella forsythia*
b　*Treponema denticola*
c　*Fusobacterium nucleatum*
d　*Porphyromonas gingivalis*

選択肢考察　　答え　b
×a　*Tannerella forsythia* は紡錘状のグラム陰性偏性嫌気性桿菌である。歯周病の進行期に分離されることが多い。
○b　*Treponema denticola* はスピロヘータの 1 つで、鞭毛をもち、運動性を示すらせん状菌である。活動性の歯周病で分離されることが多い。
×c　*Fusobacterium nucleatum* は紡錘状のグラム陰性偏性嫌気性桿菌である。活動性の歯周病で分離されることが多い。
×d　*Porphyromonas gingivalis* は黒色色素産生性のグラム陰性偏性嫌気性桿菌である。慢性歯周炎の主要原因細菌の 1 つである。

〔問題　14〕　小児の薬用量を求める Augsberger の式を示す。

$$\frac{(\text{小児の}\ \square\ ) \times 4 + 20}{100} \times \text{成人量}$$

［　　］に入るのはどれか。
a　体　重
b　身　長
c　年　齢
d　胸　囲

選択肢考察　　答え　c
×a、×b、○c、×d
小児の薬用量を求める Augsberger の式は、
$\frac{(\text{小児の年齢}) \times 4 + 20}{100}$ ×成人量　で示される。

〔問題　15〕　毒薬の表示〈別冊午前 No.5〉を別に示す。
正しいのはどれか。
a　①　　b　②　　c　③　　d　④

別冊 午前 No.5

選択肢考察　　答え　a

○a、×b、×c、×d
毒薬は、黒地に白枠、白字で薬品名と「毒」を表示し、鍵のかかる場所に保管するように「薬機法」で規定されている。

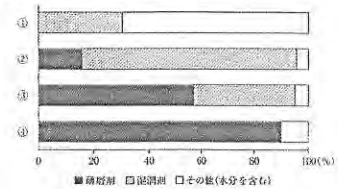
〔問題　16〕　舌の写真〈別冊午前 No.6〉を別に示す。
舌苔が付着しやすい部位はどれか。
a　①　　b　②　　c　③　　d　④

別冊 午前 No.6

選択肢考察　　答え　a

○a　①は舌根部で、健康な状態では舌苔はうっすらと舌根部に均一に付着している。
×b　②は舌背部である。
×c　③は舌尖部である。
×d　④は舌縁部である。

〔問題　17〕　粉歯磨き、練歯磨き、液状歯磨き及び液体歯磨きの代表的な成分組成を図に示す。



練歯磨きはどれか。
a　①　　b　②　　c　③　　d　④

選択肢考察　　答え　c
×a　①は研磨剤が含まれていないため、液体歯磨きである。
×b　②は湿潤剤が研磨剤よりも多く含まれているため、液状歯磨きである。
○c　③は研磨剤が湿潤剤よりも多く含まれているため、練歯磨きである。
×d　④は湿潤剤が含まれていないため、粉歯磨きである。

〔問題　18〕　フッ化物歯面塗布に用いるのはどれか。
a　HF
b　NaF
c　CaF_2
d　$Ca_{10}(PO_4)_6F_2$

選択肢考察　　答え　b
×a　HF〈フッ化水素〉は口腔内で用いてはならない。
○b　NaF〈フッ化ナトリウム〉はフッ化物歯面塗布に用いる。
×c　CaF_2〈フッ化カルシウム〉はフッ化物歯面塗布には用いられない。
×d　$Ca_{10}(PO_4)_6F_2$〈フルオロアパタイト〉はフッ化物歯面塗布には用いられない。

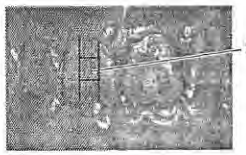
〔問題 19〕 う蝕発症の宿主要因はどれか。2つ選べ。
a　歯列不正
b　唾液緩衝能
c　含糖食品摂取頻度
d　ミュータンスレンサ球菌数

選択肢考察　　答え　a b
○a　歯列不正はう蝕発症の宿主要因である。
○b　唾液緩衝能はう蝕発症の宿主要因である。
×c　含糖食品摂取頻度はう蝕発症の食事（糖質）要因である。
×d　ミュータンスレンサ球菌数はう蝕発症の微生物（細菌）要因である。

〔問題 20〕 歯垢染め出し後の口腔内写真（別冊午前 No.7）を別に示す。
上顎右側前歯のスコアが 5 と評価されるのはどれか。
a　PℓI
b　OHI
c　PHP
d　O'Leary の PCR

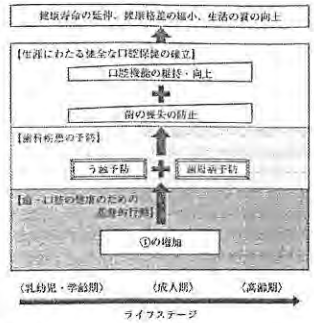
別冊 午前 No.7

選択肢考察　　答え　c



×a　PℓI の診査対象部位は 2 であり、スコアは 3 と評価される。
×b　OHI の診査対象部位は 2 1 であり、どちらもスコアは 3 と評価される。
○c　PHP の診査対象部位は 1 であり、スコアは 5 と評価される。
×d　O'Leary の PCR の診査対象部位は 2 1 であり、スコアは 3 または 4（舌側面が不明）と評価される。

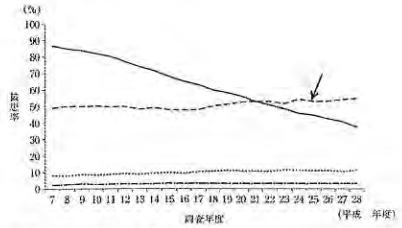
〔問題 21〕 健康日本 21（第二次）における歯・口腔の健康の目標設定の考え方を図に示す。



①はどれか。
a　歯科検診の受診者
b　1 日 3 回歯を磨く者
c　フッ化物配合歯磨剤使用者
d　ゆっくりよく噛んで食べる者

選択肢考察　　答え　a
○a、×b、×c、×d
【歯・口腔の健康のための基盤的行動】は歯科検診の受診者が増加することであり、歯科検診の受診者が増加すれば【歯科疾患の予防】さらには【生涯にわたる健全な口腔保健の確立】につながる。

〔問題 22〕 学校保健統計の中学生の被患率（男女合計）の推移を図に示す。



矢印で示すのはどれか。
a　う 歯
b　心電図異常
c　鼻・副鼻腔疾患
d　裸眼視力 1.0 未満

選択肢考察　　答え　d
×a　平成 28 年学校保健統計調査の結果で中学生のう歯は 37.49%（——）である。
×b　平成 28 年学校保健統計調査の結果で中学生の心電図異常は 3.30%（‐ ‐）である。
×c　平成 28 年学校保健統計調査の結果で中学生の鼻・副鼻腔疾患は 11.52%（･･･）である。
○d　平成 28 年学校保健統計調査の結果で中学生の裸眼視力 1.0 未満は 54.63%（‐‐‐）であり、矢印で示すのは裸眼視力 1.0 未満である。

〔問題 23〕 人口静態統計の調査項目はどれか。
a　出 生
b　就 業
c　婚 姻
d　死 亡

選択肢考察　　答え　b
×a、×c、×d　出生、死亡、死産、婚姻、離婚は人口動態統計の調査項目である。
○b　就業は人口静態統計の調査項目である。

〔問題 24〕 スタンダードプレコーションにおいて、直接接触感染の防止に有効なのはどれか。
a　マスク
b　ガウン
c　グローブ
d　フェイスガード

選択肢考察　　答え　c
×a、×b、×d　血液や体液、排泄物などが飛び散る可能性があるときはマスクやガウン、フェイスガードを着用し、間接接触感染を防止する。
○c　血液や体液、排泄物などに直接触れる可能性があるときはグローブを着用し、直接接触感染を防止する。

〔問題 25〕 感覚温度を求めるのに必要な指標の組合せはどれか。
a　気 湿 ——— 気 流 ——— 輻射熱
b　気 流 ——— 輻射熱 ——— 気 温
c　気 湿 ——— 気 温 ——— 輻射熱
d　気 温 ——— 気 湿 ——— 気 流

選択肢考察　　答え　d
×a、×b、×c、○d
ある気温で湿度 100%、無風時のヒトの感覚を基準として、その状態と同じ暑さと感じる気温、気湿、気流の組合せを感覚温度（有効温度）として表す。

〔問題 26〕 新興感染症はどれか。
a　ポリオ
b　天然痘
c　マラリア
d　鳥インフルエンザ

選択肢考察　　答え　d
×a　ポリオはポリオウイルスによる感染症である。
×b　天然痘は根絶された感染症である。
×c　マラリアは再興感染症である。
○d　鳥インフルエンザは新興感染症である。

〔問題 27〕 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき実施されるのはどれか。
a　特定健康診査
b　定期健康診断
c　臨時健康診断
d　特殊健康診断

選択肢考察　　答え　a
○a　特定健康診査は「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき実施される。
×b　定期健康診断は「学校保健安全法」や「労働安全衛生法」に基づき実施される。
×c　臨時健康診断は「学校保健安全法」に基づき実施される。
×d　特殊健康診断は「労働安全衛生法」に基づき実施される。

〔問題 28〕 歯科衛生士の業務として正しいのはどれか。
a　義歯調整
b　小窩裂溝填塞
c　ブラケットの装着
d　フッ化物洗口剤の処方

選択肢考察　　答え　b
×a　義歯調整は歯科医師の業務である。
○b　小窩裂溝填塞は歯科衛生士の業務である。
×c　ブラケットの装着は歯科医師の業務である。
×d　フッ化物洗口剤の処方は歯科医師の業務である。

〔問題 29〕 歯科診療所で患者に交付されるのはどれか。2つ選べ。
a　診断書
b　処方せん
c　業務記録
d　技工指示書

選択肢考察　　答え　a b
○a　診断書は歯科診療所で患者に交付される。
○b　処方せんは歯科診療所で患者に交付される。
×c　業務記録は「歯科衛生士法」で 3 年の保存が規定されており、歯科診療所で患者に交付されるものではない。
×d　技工指示書は「歯科技工士法」で 2 年の保存が規定されており、歯科診療所で患者に交付されるものではない。

〔問題 30〕 すべての年代が給付対象となるのはどれか。
a　介護保険
b　医療保険
c　雇用保険
d　労働者災害補償保険

選択肢考察　　答え　b
×a、×c、×d　介護保険や雇用保険、労働者災害補償保険はすべての年代が給付対象ではない。
○b　医療保険はすべての年代が給付対象である。

〔問題 31〕 我が国における歯科衛生士に関わる事項で正しいのはどれか。2つ選べ。
a　昭和 23 年に歯科衛生士法が制定された。
b　昭和 30 年に歯科保健指導が法制化された。
c　平成元年に資格試験が国家試験となった。
d　平成 22 年に全養成機関での修業年限が 3 年以上となった。

選択肢考察　　答え　a d
○a　昭和 23 年に「歯科衛生士法」が制定された。
×b　平成元年に「歯科衛生士法」の業務に「歯科保健指導」が加えられた。
×c　第 1 回全国統一歯科衛生士試験は平成 4 年〈1992 年〉に実施された。平成 21 年〈2009 年〉「歯科衛生士法」の一部が改正され、「歯科衛生士試験」の名称を「歯科衛生士国家試験」とした。
○d　平成 22 年に全養成機関での修業年限が 3 年以上となった。

〔問題 32〕 初診の患者をデンタルチェアへ誘導し、医療面接を行うよう歯科医師から指示された。
情報収集時のコミュニケーション技法で適切なのはどれか。2つ選べ。
a 患者の横に立つ。
b 共感的態度で接する。
c 患者の理解度に合わせて話す。
d 「閉ざされた質問」を主体に進める。

選択肢考察　　答え bc
×a 医療面接において、横並びは親しい関係の場合に適しているが、正面は緊張が高まる。最もリラックスできる位置は斜め 45 度の位置である。
○b 医療面接では患者の話に傾聴し、共感的態度で接する。
○c 患者の理解度や判断力に合わせて話す。
×d 一般的にコミュニケーションを深めたりする場合には、「開かれた質問」を主体に進めたほうがよいと言われている。応答する側の自由度が高いため、内容に広がりが出るからである。

〔問題 33〕 認知症患者とその家族に対するインフォームド・コンセントで適切なのはどれか。2つ選べ。
a 患者が拒否した場合は説明を省略できる。
b 意思表示がない場合は黙示の同意とする。
c 説明の不明点を確認して明確な同意を得る。
d 本人に同意能力がない場合は代理同意を得る。

選択肢考察　　答え cd
×a 患者が拒否した場合は説明を省略するのではなく、家族などへ説明し、同意を得る必要がある。
×b 意思表示がないからといって黙示の同意としてはいけない。診療を拒否する意思表示がなく、医師の指示に従っている場合に限り、黙示の同意があったものとしてよい。
○c 説明の不明点を確認して明確な同意を得るべきである。
○d 本人に同意能力がない場合は家族などの代理同意を得るべきである。

〔問題 34〕 歯科診療所において、歯科衛生士が担うことができないのはどれか。
a 歯科診療所の管理者
b 医薬品安全管理責任者
c 医療機器安全管理責任者
d 特別管理産業廃棄物管理責任者

選択肢考察　　答え a
×a 歯科診療所の管理者は臨床研修を修了した歯科医師でなければならない。
○b 医薬品安全管理責任者は歯科衛生士も担うことができる。
○c 医療機器安全管理責任者は歯科衛生士も担うことができる。
○d 特別管理産業廃棄物管理責任者は歯科衛生士も担うことができる。

〔問題 35〕 [　　] に入る組合せで正しいのはどれか。
摂食機能に対する改訂水飲みテストは、冷水 [①] mL を口腔底に注ぎ、嚥下するように指示する。可能ならば追加して [②] 回嚥下運動をしてもらい、最も悪い嚥下活動を評価する。評価が [③] 以上の場合は問題なしとする。

	①	②	③
a	1	1	2
b	1	2	4
c	3	1	2
d	3	2	4

選択肢考察　　答え d
×a、×b、×c、○d
改訂水飲みテストは、冷水 3mL を口腔底に注ぎ、嚥下するように指示する。可能ならば追加して 2 回嚥下運動をしてもらい、最も悪い嚥下活動を評価する。評価が 4 以上の場合は問題なしとする。したがって、dが正しい。

〔問題 36〕 下顎運動の記録を目的とするのはどれか。
a サベイング
b フェイスボウ
c パラトグラム
d ゴシックアーチ

選択肢考察　　答え d
×a サベイングは支台歯や顎堤のアンダーカット部位の解析などを目的とする。
×b フェイスボウは頭蓋や顎関節に対する上顎の位置関係の記録などを目的とする。
×c パラトグラムは発音時の舌と口蓋、歯列の接触関係の記録を目的とする。
○d ゴシックアーチは下顎運動の記録を目的とする。

〔問題 37〕 化膿性炎症のスクリーニング検査はどれか。2つ選べ。
a 白血球数
b C 反応性タンパク
c ヘモグロビン濃度
d 尿中クレアチニン

選択肢考察　　答え ab
○a 白血球数は化膿性炎症のスクリーニング検査である。
○b C 反応性タンパクは化膿性炎症のスクリーニング検査である。
×c ヘモグロビン濃度は赤血球の検査であり、貧血などに用いられる。
×d 尿中クレアチニンは腎機能の検査である。

〔問題 38〕 セルフエッチングプライマーに含まれるのはどれか。
a フィラー
b 接着性モノマー
c カンファーキノン
d 過酸化ベンゾイル

選択肢考察　　答え b
×a フィラーはコンポジットレジン中に含まれるが、セルフエッチングプライマーには含まれない。
○b 接着性モノマーはセルフエッチングプライマーに含まれる。
×c カンファーキノンは光重合型コンポジットレジン中に含まれるが、セルフエッチングプライマーには含まれない。

×d 過酸化ベンゾイルは常温重合型レジンの重合開始剤であり、セルフエッチングプライマーには含まれない。

〔問題 39〕 27 歳の女性。下顎右側大臼歯の食片圧入を主訴として来院した。第一大臼歯と第二大臼歯の間にう蝕を認めたため修復処置を行うことになった。製作した修復物の写真（別冊午前 No.8）を別に示す。
直接修復と比較した利点はどれか。2つ選べ。
a 来院回数が少ない。
b 歯質削除量が少ない。
c 接触点の回復が容易である。
d コントラクションギャップが抑制できる。

別冊 午前 No.8

選択肢考察　　答え cd

×a 直接修復と比較して間接修復では、印象採得し模型を製作して技工操作を行う必要がある。したがって、来院回数が少ないとは言えない。
×b 間接修復ではアンダーカットが生じないようにし、適切な形態に窩洞形成する必要がある。したがって、歯質削除量は多くなる。
○c 間接修復では模型上で接触点の形態付与などが可能であり、接触点の回復が容易である。
○d 間接修復では模型上でコンポジットレジンを重合させるため、歯質との接着界面での重合収縮応力の影響が小さく、コントラクションギャップが抑制できる。

〔問題 40〕 根管治療で単一で仮封に用いる材料に適していないのはどれか。
a 水硬性仮封材
b テンポラリーストッピング
c グラスアイオノマーセメント
d ポリカルボキシレートセメント

選択肢考察　　答え b
○a 水硬性仮封材は封鎖性があり、根管治療において単一での仮封に用いる材料として適している。
×b テンポラリーストッピングは封鎖性に乏しいため、根管治療においてほかの仮封材と併用するのがよい。
○c グラスアイオノマーセメントは封鎖性があり、根管治療において単一での仮封に用いる材料として適している。
○d ポリカルボキシレートセメントは封鎖性があり、根管治療において単一での仮封に用いる材料として適している。

〔問題 41〕 62 歳の女性。下顎左側犬歯の咬合痛と歯肉腫脹を訴えて来院した。慢性根尖性歯周炎と診断され治療を開始した。ポストコア除去時に破折の可能性があるため、外科処置を行った。初診時のエックス線写真（別冊午前 No.9A）と外科処置時の口腔内写真（別冊午前 No.9B）を別に示す。
矢印で示す部位の封鎖に用いるのはどれか。
a EBA セメント
b 水硬性セメント
c リン酸亜鉛セメント
d カルボキシレートセメント

別冊 午前 No.9A、B

選択肢考察　　答え a

○a 矢印の部位の封鎖は逆根管充塡で行う。逆根管充塡材として EBA セメントが用いられる。
×b 逆根管充塡材として水硬性セメントは用いられない。
×c 逆根管充塡材としてリン酸亜鉛セメントは用いられない。
×d 逆根管充塡材としてカルボキシレートセメントは用いられない。

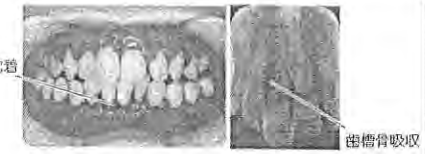
〔問題 42〕 根面う蝕の特徴はどれか。2つ選べ。
a 環状に拡大する。
b 歯肉退縮を伴う。
c 穿通性に進行する。
d う蝕円錐を形成する。

選択肢考察　　答え ab
○a 根面う蝕は環状に拡大する。
○b 根面う蝕は根面が露出した症例に生じるため、歯肉退縮を伴う。
×c 穿通性に進行するう蝕は進行が急速な急性う蝕である。
×d う蝕円錐は歯冠部のエナメル質う蝕や象牙質う蝕でみられる。根面う蝕ではみられない。

〔問題 43〕 42 歳の女性。上顎前歯部歯肉の不快感を主訴として来院した。数年前から前歯部に排膿と出血が認められ、咬合時に動揺するという。プロービング深さは 5 ～ 8mm であり、慢性歯周炎と診断された。全身的には特記すべき事項はない。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.10A）とエックス線写真（別冊午前 No.10B）を別に示す。
リスクファクターとして考えられるのはどれか。2つ選べ。
a 歯 石
b 小帯異常
c 外傷性咬合
d 歯の形態異常

別冊 午前 No.10A、B

選択肢考察　　答え ac



○a　プラークリテンションファクターである歯石の沈着が著明であり、リスクファクターとして考えられる。
×b　小帯異常はみられない。
○c　歯槽骨吸収がみられ、外傷性咬合がリスクファクターとして考えられる。
×d　歯の形態異常はみられない。

（問題 44）　48 歳の女性。歯肉の腫脹、発赤および歯の離開を主訴として来院した。数年前より自覚していたが放置していたという。口唇の乾燥を認める。プロービング深さは全顎的に 4 ～ 5mm であり、動揺は認めない。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.11）を別に示す。
考えられる対応はどれか。
a　暫間固定
b　矯正治療
c　ナイトガード装着
d　オーラルスクリーン装着

別冊 午前 No.11

選択肢考察　　答え　d

×a　動揺を認めず、暫間固定は対応として考えられない。
×b　まだ歯周基本治療を行なっておらず、矯正治療を行うのは考えられない。
×c　ナイトガード装着はブラキシズムの症例に行う。
○d　歯の離開や口唇の乾燥、テンションリッジなどから口呼吸が考えられるため、対応としてオーラルスクリーン装着が考えられる。

（問題 45）　支台歯が生活歯である場合、ブリッジを仮着するのに用いるのはどれか。
a　リン酸亜鉛セメント
b　接着性レジンセメント
c　グラスアイオノマーセメント
d　酸化亜鉛ユージノールセメント

選択肢考察　　答え　d

×a　リン酸亜鉛セメントは合着用セメントである。歯髄刺激性があり、最近はほとんど使用されなくなった。
×b　接着性レジンセメントは合着用セメントである。
×c　グラスアイオノマーセメントは合着用セメントである。
○d　酸化亜鉛ユージノールセメントは歯髄鎮静作用があり、仮着用セメントである。

（問題 46）　全部床義歯と部分床義歯に共通した構成要素はどれか。2 つ選べ。
a　人工歯
b　連結子
c　義歯床
d　支台装置

選択肢考察　　答え　a c

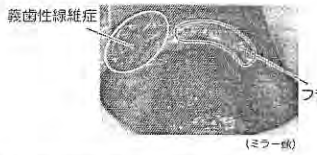
○a　人工歯は全部床義歯と部分床義歯に共通した構成要素である。
×b　連結子は部分床義歯の構成要素である。
○c　義歯床は全部床義歯と部分床義歯に共通した構成要素である。
×d　支台装置は部分床義歯の構成要素である。

次の文を読み、（問題 47）、（問題 48）に答えよ。
80 歳の男性。上顎左側犬歯相当部の顎堤粘膜の疼痛を主訴として来院した。7 年前に上下顎全部床義歯を製作し、2 年前から徐々に粘膜部が増殖してきたが、疼痛を認めなかったため、義歯は使用し続けていたという。最近になり、食事時に疼痛を認めるようになったという。義歯性線維症と診断された。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.12）を別に示す。

別冊 午前 No.12

（問題 47）　丸印で示した患部の原因として考えられるのはどれか。
a　骨鋭縁
b　床用材料
c　義歯床縁の不良
d　人工歯排列の不良

選択肢考察　　答え　c



×a　丸印で示した患部とは義歯性線維症である。原因は骨鋭縁ではない。
×b　義歯性線維症の原因は床用材料ではない。
○c　義歯床縁が不良だと義歯性線維症になりやすい。
×d　義歯性線維症の原因は人工歯排列の不良ではない。

（問題 48）　新義歯製作にあたり、前処置として考えられるのはどれか。
a　粘膜調整
b　歯槽骨整形術
c　唾液腺マッサージ
d　プラークコントロール

選択肢考察　　答え　a

○a　顎堤粘膜に疼痛や潰瘍がある場合、新義歯製作にあたり、前処置として粘膜調整を行うことがある。
×b　歯槽骨整形術は外科的前処置の 1 つで、安定性の良好な義歯を製作するために歯槽突起の一部を切除する手術である。本症例では必要ない。
×c　唾液腺マッサージは口腔乾燥の予防とともに、口腔機能の向上の訓練法の 1 つであり、前処置ではない。
×d　プラークコントロールはう蝕および歯周病の予防のみならず、義歯性口内炎の予防にも有効である。義歯製作の前処置ではない。

（問題 49）　口唇・口蓋裂の治療法と治療時期の組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。
a　口唇形成術 ――― 生後 3 ～ 4 か月頃
b　口蓋形成術 ――― 生後 1 歳 6 か月頃
c　顎裂部骨移植術 ――― 生後 1 ～ 2 歳頃
d　スピーチエイド ――― 出生直後

選択肢考察　　答え　a b

○a　口唇形成術〈口唇裂一次手術〉は生後 3 ～ 4 か月頃（体重 6kg）に行われる。
○b　口蓋形成術〈口蓋裂一次手術〉は生後 1 歳 6 か月頃に行われる。また、1 歳 6 か月頃に軟口蓋形成術、4 歳半～ 6 歳頃に硬口蓋形成術を行う二段階口蓋形成術もある。
×c　腸骨から採取した海綿骨を用いて顎裂部骨移植術を 8 ～ 10 歳頃に行って、歯を移植骨内に移動させて歯列を整える。
×d　鼻咽腔閉鎖機能不全がみられる場合はスピーチエイドを装着する。3 歳頃から装着可能である。

（問題 50）　ビスホスホネート系薬物が投与されている可能性がある疾患はどれか。
a　心筋梗塞
b　高血圧症
c　骨粗鬆症
d　閉塞性肺炎

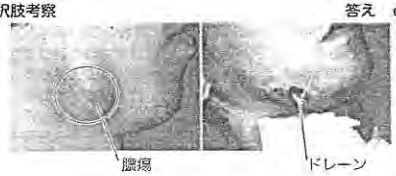
選択肢考察　　答え　c

×a、×b、○c、×d
ビスホスホネート系〈BP〉薬物は、悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症や多発性骨髄腫による骨病変や骨粗鬆症に対して投与される。ビスホスホネート系薬物投与患者は抜歯を機に顎骨壊死を発症することがあるので、投与中は口腔内管理を定期的に行い、顎骨に対する侵襲的な処置を避けるようにすることが重要である。

（問題 51）　29 歳の男性。右側下頬部の腫脹と疼痛を訴えて来院じた。3 週前から同部の腫脹に気付いていたが 3 日前から腫脹が増大し、自発痛も強くなったという。同部は触診によって波動を触知した。白血球数は 10,000 μL であった。初診時の写真（別冊午前 No.13A）と処置直後の写真（別冊午前 No.13B）を別に示す。
矢印で示す材料の目的はどれか。
a　止血効果
b　細菌検査
c　術後浮腫防止
d　排膿路の確保

別冊 午前 No.13A、B

選択肢考察　　答え　d



×a、×b、×c、○d
矢印で示しているのはドレーンで、排膿路の確保が目的である。

（問題 52）　下顎歯列模型の咬合面観の写真（別冊午前 No.14）を別に示す。
正常な咬合関係で上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭の三角隆線が接触するのはどれか。
a　①　b　②　c　③　d　④

別冊 午前 No.14

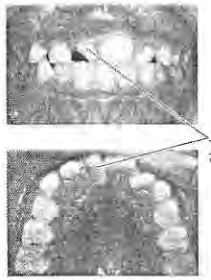
選択肢考察　　答え　b

×a、○b、×c、×d
正常な咬合関係では、上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭の三角隆線は下顎第一大臼歯の頬面溝と接触する。したがって、②が正しい。

（問題 53）　8 歳の女児。上顎前歯の位置異常を主訴として来院した。萌出開始時から気になっていたという。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.15）を別に示す。
上顎右側中切歯の位置異常はどれか。
a　捻転
b　転位
c　移転
d　回転

別冊 午前 No.15

選択肢考察　　答え　a



○a　上顎右側中切歯は歯軸を中心に回転しているので捻転である。
×b　転位は正常な位置から近遠心あるいは唇舌方向に位置が変化した状態である。
×c　移転は隣在歯と位置が入れ替わった状態である。
×d　歯の位置異常に回転という用語は用いられない。

〔問題 54〕 9歳の女児。学校歯科健康診断で前歯の咬み合わせの異常を指摘されて来院した。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.16）を別に示す。
放置したときに下顎中切歯に予想されるのはどれか。2つ選べ。
a 挺出
b 動揺
c 舌側傾斜
d 歯肉退縮

別冊 午前 No.16

選択肢考察　　答え bd

×a 下顎中切歯が挺出するとは考えられない。
○b 舌側傾斜している上顎中切歯と下顎中切歯が咬合干渉することで、下顎中切歯の動揺が生じることが予測される。
×c 下顎中切歯が舌側傾斜するとは考えられない。
○d 咬合干渉によって下顎中切歯部の歯肉退縮が生じることが予測される。

〔問題 55〕 矯正装置の写真（別冊午前 No.17）を別に示す。
固定の種類はどれか。
a 顎間固定
b 顎内固定
c 顎外固定
d 相反固定

別冊 午前 No.17

選択肢考察　　答え c

上顎前方牽引装置

×a 顎間固定は対顎に固定を求めるものである。
×b 顎内固定は同一顎内に固定を求めるものである。
○c 顎外固定は頭部など顎外に固定を求めるものである。写真は上顎前方牽引装置であり、顎外固定装置である。
×d 相反固定とは、移動させる歯と固定源となる歯の両方に同様の矯正力が加わり、両歯とも移動するものである。

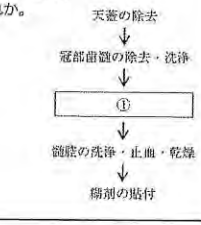
〔問題 56〕 4歳の男児。口腔内写真（別冊午前 No.18）を別に示す。
矢印で示す歯が交換する時期はどれか。
a 7歳頃
b 9歳頃
c 11歳頃
d 15歳頃

別冊 午前 No.18

選択肢考察　　答え c

×a、×b、○c、×d
矢印で示す歯は上顎左側第二乳臼歯であり、11歳頃に交換する。

〔問題 57〕 5歳の男児。上顎第二乳臼歯の咀嚼時痛を主訴として来院した。一部性の歯髄炎と診断され、生活歯髄切断法を行うことになった。処置の手順を図に示す。
①の処置で使用するのはどれか。
a Kファイル
b ラウンドバー
c 根管長測定器
d 70%アルコール



選択肢考察　　答え b

×a Kファイルは根管拡大形成の際に用いる。
○b 生活歯髄切断法において①で行うのは根管口部での歯髄切断であり、ラウンドバーを使用する。
×c 根管長測定器は根管拡大形成の際に用いる。
×d 70%アルコールは消毒用アルコールであり、生活歯髄切断法には使用しない。

〔問題 58〕 75歳の女性。1年前の脳梗塞により右片麻痺があり車椅子を利用している。今回、認知症と診断された。認知症の症状はまだらである。
考えられるのはどれか。
a 血管性認知症
b 前頭側頭型認知症
c レビー小体型認知症
d アルツハイマー型認知症

選択肢考察　　答え a

○a 血管性認知症は記憶障害に加えて、失語、失行、失認が1つまたはそれ以上みられ、比較的保たれている部分とそうでない部分がある〈まだら認知症〉。
×b 前頭側頭型認知症はほかの認知症とは異なり、行動の異常や人格の変化、言語障害がみられる。
×c レビー小体型認知症は発症早期には記銘力障害は目立たないが、覚醒レベルの変動がみられ、幻視が特徴的である。
×d アルツハイマー型認知症は記憶障害や見当識障害が特徴的である。

〔問題 59〕 高齢者に多い口腔疾患はどれか。2つ選べ。
a 口腔癌
b 手足口病
c 口腔カンジダ症
d エナメル上皮腫

選択肢考察　　答え ac

○a 口腔癌は高齢者に多い口腔疾患である。
×b 手足口病は乳幼児に多い口腔疾患である。
○c 口腔カンジダ症は高齢者に多い口腔疾患である。
×d エナメル上皮腫は若年者に多い口腔疾患である。

〔問題 60〕 ADL の評価法である Barthel Index の項目はどれか。2つ選べ。
a 食事
b 入浴
c 体操
d 洗濯

選択肢考察　　答え ab

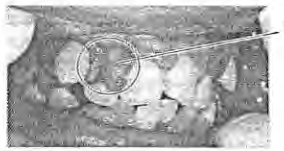
○a 食事は ADL〈日常生活動作〉の評価法である Barthel Index の項目である。
○b 入浴は ADL の評価法である Barthel Index の項目である。
×c 体操は ADL の評価法である Barthel Index の項目ではない。
×d 洗濯は IADL〈手段的日常生活動作〉の評価項目である。

次の文を読み、〔問題 61〕、〔問題 62〕に答えよ。
19歳の女性。ブラッシング時の出血を主訴として来院した。けいれん発作があるため医師からの処方薬を服用しているという。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.19）を別に示す。

別冊 午前 No.19

〔問題 61〕 原因と考えられる服用薬はどれか。
a ニフェジピン
b フェニトイン
c カルバマゼピン
d シクロスポリン

選択肢考察　　答え b



×a ニフェジピンの副作用は歯肉増殖であるが、ニフェジピンはカルシウム拮抗薬〈降圧薬〉である。
○b フェニトインの副作用は歯肉増殖で、フェニトインは抗てんかん薬である。けいれん発作があるため医師からフェニトインを処方されていると考えられる。
×c カルバマゼピンを服用することで歯肉増殖が起こるとは考えにくい。
×d シクロスポリンの副作用は歯肉増殖であるが、シクロスポリンは免疫抑制薬である。

〔問題 62〕 口腔清掃中に全身が硬直する発作が生じ、呼びかけに反応しない。
直ちに行うのはどれか。2つ選べ。
a 背板を起こす。
b 開口器で咬舌を防ぐ。
c 口腔清掃を中止する。
d 口腔内の器具をすべて除去する。

選択肢考察　　答え cd

×a、×b、○c、○d
口腔清掃中に全身が硬直する発作が生じ、呼びかけに反応しないため、意識を消失している可能性が高い。背板を起こしたり、開口器で咬舌を防いだりする前に、直ちに口腔清掃を中止し、誤嚥や誤飲を防止するために口腔内の器具をすべて除去することが重要である。

〔問題 63〕 歯周病の第二次予防の組合せで正しいのはどれか。
a 特異的防御 ―― スケーリング
b 機能喪失阻止 ―― 歯周外科処置
c 早期発見・即時処置 ―― PMTC
d リハビリテーション ―― 健康教育

選択肢考察　　答え b

×a 特異的防御は第一次予防である。
○b 機能喪失阻止は第二次予防であり、歯周外科処置が含まれる。
×c PMTC は第一次予防である。
×d リハビリテーションは第三次予防、健康教育は第一次予防である。

〔問題 64〕 口腔の付着物・沈着物で正しいのはどれか。2つ選べ。
a 歯石の主成分はリン酸カルシウムである。
b 色素沈着は外来性と歯質内に着色するものがある。
c 歯垢は細菌と食物残渣からなる層状の構造物である。
d ペリクルは口腔粘膜に形成される透明な薄膜である。

選択肢考察　　答え ab

○a 歯石の主成分はリン酸カルシウムである。
○b 色素沈着は外来性と歯質内に着色するものがある。
×c 歯垢は細菌とその産生物からなる構造物である。
×d ペリクルは歯面に形成される透明な薄膜である。

〔問題 65〕 妊娠期の口腔に多くみられるのはどれか。2つ選べ。
a 悪阻による口腔清掃不良
b 妊娠初期のアレルギー性歯肉炎
c 妊娠高血圧症候群による粘膜皮膚病変
d 女性ホルモンのバランスの変化に関連する歯肉炎

選択肢考察　　答え ad

○a 妊娠期では悪阻によって口腔清掃不良になることが多い。
×b アレルギー性歯肉炎はアレルギーが原因であり、妊娠期に多くみられるわけではない。
×c 粘膜皮膚病変として天疱瘡など自己免疫疾患が挙げられる。妊娠期に多くみられるわけではない。
○d 妊娠期では女性ホルモンが増加し、それによってある種の歯周病原細菌が増殖しやすく歯肉炎となりやすい。

〔問題 66〕 歯周病に関与する環境因子はどれか。2つ選べ。
a 喫煙
b 遺伝
c 細菌
d 口腔清掃習慣

選択肢考察　　答え ad

○a 喫煙は歯周病に関与する環境因子である。
×b 遺伝は歯周病に関与する宿主因子である。
×c 細菌は歯周病に関与する細菌因子である。
○d 口腔清掃習慣は歯周病に関与する環境因子である。

〔問題 67〕 器具の写真（別冊午前 No.20）を別に示す。
使用する部位はどれか。2つ選べ。
a　16 歯根部頬側
b　27 歯根部口蓋側
c　34 歯根部頬側
d　46 歯根部舌側

別冊 午前 No.20

選択肢考察　　答え　a d

ファーケーションプローブ

○a　16 は上顎右側第一大臼歯であり、頬側には根分岐部が存在するため、ファーケーションプローブを使用する。
×b　27 は上顎左側第二大臼歯であり、口蓋側には根分岐部は存在しない。
×c　34 は下顎左側第一小臼歯であり、頬側に根分岐部は存在しない。
○d　46 は下顎右側第一大臼歯であり、舌側には根分岐部が存在するため、ファーケーションプローブを使用する。

〔問題 68〕 歯周炎の活動性を評価するのはどれか。
a　BOP
b　動揺度
c　PMA Index
d　O'Leary の PCR

選択肢考察　　答え　a
○a　BOP はプロービング時の出血であり、歯周炎の存在や活動性の評価に用いられる。
×b　動揺度は歯周組織の質や量を評価するものであり、歯周炎の活動性を評価するものではない。
×c　PMA Index は歯肉炎の広がりを評価するものであり、歯周炎の活動性を評価するものではない。
×d　O'Leary の PCR は口腔清掃状態の指標であり、歯周炎の活動性を評価するものではない。

〔問題 69〕 根分岐部病変の判定に用いるのはどれか。2つ選べ。
a　Weine の分類
b　Miller の分類
c　Glickman の分類
d　Lindhe & Nyman の水平的分類

選択肢考察　　答え　c d
×a　Weine の分類は歯内－歯周疾患の分類である。
×b　Miller の分類は動揺度の分類である。
○c、○d　根分岐部病変の分類として、Glickman の分類や Lindhe & Nyman の水平的分類がある。

〔問題 70〕 歯周組織検査結果の一部を表に示す。

右頬	アタッチメントレベル (mm)	5	4	5	5	4	5	4	4	5	5	4	4
	プロービングデプス (mm)	3	3	4	4	3	4	5	4	4	4	4	5
歯槽		31			33			36			37		
右舌	プロービングデプス (mm)	4	3	4	4	3	5	5	4	5	5	5	5
	アタッチメントレベル (mm)	6	6	6	6	5	6	6	5	6	6	5	5

根面の露出が最も大きいのはどれか。
a　第一小臼歯
b　第二小臼歯
c　第一大臼歯
d　第二大臼歯

選択肢考察　　答え　a
○a、×b、×c、×d
根面の露出量はアタッチメントレベルからプロービングデプスを減じることで算出できる。算出した歯根露出量の最大値は、第一小臼歯が 3mm、第二小臼歯が 2mm、第一大臼歯が 1mm、第二大臼歯が 1mm である。したがって、正解は a である。

〔問題 71〕 エアスケーラーの特徴はどれか。
a　無注水下で行う。
b　キャビテーション効果がある。
c　エアロゾルの発生を抑制する。
d　エアタービンの圧縮空気を利用する。

選択肢考察　　答え　d
×a　エアスケーラーは注水下で使用する。
×b　キャビテーション効果があるのはエアスケーラーではなく、超音波スケーラーである。
×c　エアロゾルの発生を抑制する必要があるのはエアスケーラーではなく、超音波スケーラーである。
○d　エアスケーラーはエアタービンの圧縮空気を利用する。

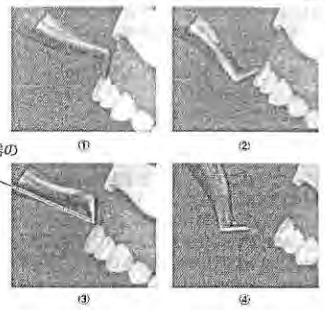
〔問題 72〕 グレーシータイプキュレット #13 のシャープニングを、手用のアーカンサスストーンで行う。
正しい操作はどれか。2つ選べ。
a　先端は 12 時の方向に向ける。
b　フェイスは床面と垂直にする。
c　ヒールからトウ方向に研ぐ。
d　砥石は下げる動作で終了する。

選択肢考察　　答え　c d
×a　グレーシータイプキュレット #13 のシャープニングでは、先端は 6 時の方向に向ける。
×b　グレーシータイプキュレットのシャープニングは、フェイスを床面と平行にする。
○c　グレーシータイプキュレットのシャープニングは、ヒールからトウ方向に研ぐ。
○d　グレーシータイプキュレットのシャープニングは、砥石を下げる動作で終了する。

〔問題 73〕 炭酸水素ナトリウムを用いる歯面清掃器の使用時の写真（別冊午前 No.21）を別に示す。
正しいのはどれか。
a　①　b　②　c　③　d　④

別冊 午前 No.21

選択肢考察　　答え　c



×a、×b、○c、×d
炭酸水素ナトリウムを用いる歯面清掃器の使用法は、ノズルを歯肉側から切縁側へ向け、30 ～ 80 度の角度で使用する。また、歯面から 2 ～ 5mm 離すのがよい。したがって、③が正しい。

次の文を読み、〔問題 74〕、〔問題 75〕に答えよ。
8 歳の男児。定期歯科健康診査で来院した。う蝕活動性試験を行い、次の結果を得た。

①	RD テスト *	10^7CFU/mL（Middle）
②	Dentocult® -SM	10^6CFU/mL 以上（クラス 3）
③	Dentocult® -LB	10^3CFU/mL 以下（クラス 0）
④	Hadley test	10^3CFU/mL

〔問題 74〕 ミュータンスレンサ球菌の菌数レベルを示すのはどれか。
a　①　b　②　c　③　d　④

選択肢考察　　答え　b
×a　①はレサズリン還元性菌の菌数レベルを示す。
○b　②はミュータンスレンサ球菌の菌数レベルを示す。
×c　③は乳酸菌の菌数レベルを示す。
×d　④は乳酸菌の菌数レベルを示す。

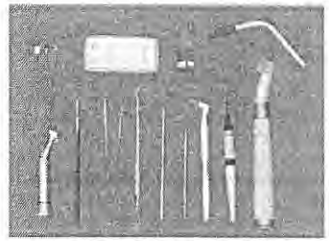
〔問題 75〕 この男児に勧める歯磨剤の成分で適切なのはどれか。
a　フッ化第一スズ
b　乳酸アルミニウム
c　ポリリン酸ナトリウム
d　ポリエチレングリコール

選択肢考察　　答え　a
○a　ミュータンスレンサ球菌の菌数レベルが高いので、フッ化第一スズの応用が適切である。
×b　乳酸アルミニウムは知覚過敏抑制に勧められる。
×c　ポリリン酸ナトリウムは歯石沈着防止に勧められる。
×d　ポリエチレングリコールはタバコのヤニ除去に勧められる。

〔問題 76〕 光重合型小窩裂溝填塞を行うのに必要な器材の写真（別冊午前 No.22）を別に示す。
必要なのはどれか。2つ選べ。
a　咬合紙
b　コンタクトゲージ
c　プラスチックストリップス
d　ラバーダム防湿用器具・器材一式

別冊 午前 No.22

選択肢考察　　答え　a d



光重合型小窩裂溝填塞時に用いる器材

○a　光重合型小窩裂溝填塞を行った場合、最後に咬合紙を用いて咬合を確認する必要がある。
×b　コンタクトゲージは光重合型小窩裂溝填塞には用いない。
×c　プラスチックストリップスは光重合型小窩裂溝填塞には用いない。
○d　光重合型小窩裂溝填塞を行う際には防湿が重要であるため、ラバーダム防湿用器具・器材一式が必要である。

〔問題 77〕 我が国で市販されている歯磨剤に含まれるフッ化物はどれか。2つ選べ。
a　フッ化ナトリウム
b　ケイフッ化ナトリウム
c　リン酸酸性フッ化ナトリウム
d　モノフルオロリン酸ナトリウム

選択肢考察　　答え　a d
○a、○d　我が国で市販されている歯磨剤にはフッ化ナトリウムやモノフルオロリン酸ナトリウムが含まれている。
×b　ケイフッ化ナトリウムは水道水フロリデーションに応用される。
×c　リン酸酸性フッ化ナトリウムはフッ化物歯面塗布に応用される。

〔問題 78〕 小学校で行うフッ化物洗口剤の取扱いで正しいのはどれか。
a　洗口液の調整は児童自らが行う。
b　洗口液はガラス容器に分注する。
c　洗口液は溶解後 2 か月程度使用できる。
d　洗口用顆粒剤は児童の手の届かないところに保管する。

選択肢考察　　答え　d
×a　洗口液の調整は専門家が行う。
×b　フッ化物はガラス容器を侵蝕しやすいため使用しない。
×c　小学校では調整した洗口液の残りを実施のたびに廃棄する。
○d　洗口用顆粒剤は児童の手の届かないところに厳重に管理する。

〔問題 79〕 53 歳の女性。初診時の会話を以下に示す。
歯科衛生士：①今日はどういったことで来院されましたか。
患　　者：左下の歯肉が痛むので。
歯科衛生士：②いつ頃から痛みましたか。
患　　者：今回は、昨晩の夕食時です。実は、半年ぐらい前から時々痛むことがありました。
歯科衛生士：それは、ずいぶん我慢なさったのですね。③どういう時に痛みますか。思い当たることはありますか。
患　　者：食べた物の影響ではないと思います。忙しくて疲れがたまってくると噛んだ時に痛むようになった気がします。
歯科衛生士：なるほど体の疲れと関係があるかもしれないということですね。④その時の生活状況をもう少し詳しくお話しいただけますか。
コミュニケーション技法で焦点化〈フォーカシング〉の部分はどれか。
a ①　b ②　c ③　d ④

選択肢考察　　**答え d**
× a　①は Open ended question〈開放型質問〉である。
× b　②は「時間」を聞いているため、Closed question〈閉鎖型質問〉である。
× c　③は Open ended question で、かつ患者の考えを聞いているため解釈モデルに対する質問である。
○ d　④は患者に詳細を聞いているため、コミュニケーション技法で焦点化〈フォーカシング〉の部分である。

〔問題 80〕 Breslow の 7 つの健康習慣を用いて生活指導を行う際、正の強化が有効なのはどれか。2 つ選べ。
a 喫　煙
b 朝　食
c 飲　酒
d 運　動

選択肢考察　　**答え b d**
× a　Breslow の 7 つの健康習慣で「喫煙しない」は負の強化が有効である。
○ b　Breslow の 7 つの健康習慣で「朝食を毎日とる」は正の強化が有効である。
× c　Breslow の 7 つの健康習慣で「過度の飲酒をしない」は負の強化が有効である。
○ d　Breslow の 7 つの健康習慣で「定期的にかなり激しい運動をする」は正の強化が有効である。

〔問題 81〕 多剤服用の高齢者に対して歯科保健指導を行う際に、薬物の注意すべき有害作用はどれか。2 つ選べ。
a 歯髄壊死
b 出血傾向
c 口腔乾燥
d 嚥下障害

選択肢考察　　**答え b c、b d、c d（厚労省発表）**
× a　薬物の併用により歯髄壊死が起こるとは考えにくい。
○ b　薬物の併用（ワルファリンと酸性非ステロイド性抗炎症薬など）により出血傾向がみられることがあるため注意すべきである。
○ c　薬物の副作用（アトロピンなど）により口腔乾燥がみられることがあるため注意すべきである。
○ d　薬物の副作用（ニューキノロン系など）により痙攣がみられることがあり、痙攣などで嚥下障害が生じる可能性があるため注意すべきである。

〔問題 82〕 0～3 歳児のミュータンスレンサ球菌の感染と定着の予防で有効なのはどれか。2 つ選べ。
a 洗口剤の使用
b 離乳開始の遅延
c 含糖食品の摂取制限
d 養育者の口腔衛生の改善

選択肢考察　　**答え c d**
× a　厚生労働省のガイドラインで定めるフッ化物洗口開始の対象年齢は 4 歳であり、0～3 歳児に洗口剤は使用できない。
× b　離乳開始を遅らせてもミュータンスレンサ球菌の感染と定着の予防とはならない。
○ c　含糖食品の摂取制限はミュータンスレンサ球菌の感染と定着を予防できる。
○ d　養育者の口腔衛生の改善はミュータンスレンサ球菌の感染と定着を予防できる。

〔問題 83〕 摂食嚥下機能の獲得段階と特徴的な動きの組合せで正しいのはどれか。
a 嚥下機能獲得期 ――― 上唇での取り込み
b 捕食機能獲得期 ――― 頬と口唇の協調運動
c 押しつぶし機能獲得期 ― 舌尖の口蓋皺襞への押し付け
d すりつぶし機能獲得期 ― 下唇の内転

選択肢考察　　**答え c**
× a　嚥下機能獲得期は下唇の内転、舌尖の固定、舌の蠕動様運動での食塊移送が特徴的である。
× b　捕食機能獲得期は頬・口唇の随意的閉鎖、上唇での取り込み（擦り取り）が特徴的である。
○ c　押しつぶし機能獲得期は口角の水平の動き（左右対称）、舌尖の口蓋皺襞への押し付けが特徴的である。
× d　すりつぶし機能獲得期は口角の引き（左右非対称）、頬と口唇の協調運動、顎の偏位が特徴的である。

〔問題 84〕 義歯装着者でカンジダ菌が定着しやすいのはどれか。
a 鉤　歯
b 人工歯
c 義歯床面
d クラスプ

選択肢考察　　**答え c**
× a、× b、× d　鉤歯や人工歯、クラスプにはカンジダ菌は定着しにくい。
○ c　義歯装着者では義歯床面にカンジダ菌が定着しやすい。

〔問題 85〕 88 歳の女性。市の訪問事業で保健師とともに訪問した。5 年前から重度認知症で ADL は全介助である。家族から下顎左側臼歯部のブリッジが揺れるため、軟らかいものしか食べられないと相談された。口腔内を観察したところ、プラークが付着していた。また、ブリッジに軽度の動揺が認められたが、ブリッジと支台歯の接着は強固であった。
家族に指導するのはどれか。2 つ選べ。
a 食形態の変更
b ブリッジ部の清掃
c セルフケアの習慣づけ
d 歯科医師への往診の依頼

選択肢考察　　**答え b d**
× a　ブリッジの支台歯が歯周病のため軟らかいものしか食べられないと考えられるので、食形態を変更する必要はない。

○ b　口腔内の観察によりプラークの付着がみられるため、ブリッジ部の清掃を家族に指導する。
× c　患者は重度認知症で ADL は全介助のため、セルフケアの習慣づけは困難と考えられる。
○ d　ブリッジの支台歯が歯周病と考えられるため、歯科医師への往診を依頼するように家族に指導する。

〔問題 86〕 84 歳の女性。乳癌の治療のため入院している。歯科医師より周術期の口腔衛生管理を指示されて定期的に病室を訪問している。4 日前に手術が行われ、術後の経過は順調でおかゆも食べているという。患者が食事中の病室訪問時に見つけた義歯の写真**（別冊午前 No.23）**を別に示す。
担当の看護師に対する義歯の説明で適切なのはどれか。2 つ選べ。
a 義歯は毎食後清掃してください。
b 食事の際は使用するようにしてください。
c 手術後 1 週程度は使用しないでください。
d 歯科医療従事者以外は触らないようにしてください。

別冊 午前 No.23

選択肢考察　　**答え a b**

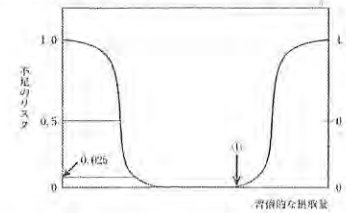
水の入ったコップの中に義歯

○ a、○ b　患者が食事中の病室訪問時に見つけた義歯の写真では、水の入ったコップの中に義歯が入っているため、食事の際に使用していないと考えられる。食事の際は義歯を使用させ、毎食後に義歯を清掃してもらうよう担当の看護師に説明する。
× c　術後の経過は順調でおかゆを食べているため、義歯を使用させるよう担当の看護師に説明する。
× d　歯科医療従事者以外でも義歯に触れて構わない。

〔問題 87〕 ハイリスクアプローチはどれか。2 つ選べ。
a 地域住民へのフレイル予防の講演
b 高血圧患者への塩分摂取量の指導
c 学童への「噛ミング 30」学習の普及
d 喫煙者へのニコチン代替療法による禁煙支援

選択肢考察　　**答え b d**
× a　地域住民へのフレイル予防の講演はポピュレーションアプローチである。
○ b　高血圧患者への塩分摂取量の指導はハイリスクアプローチである。
× c　学童への「噛ミング 30」学習の普及はポピュレーションアプローチである。
○ d　喫煙者へのニコチン代替療法による禁煙支援はハイリスクアプローチである。

〔問題 88〕 日本人の食事摂取基準の模式図を示す。



①に該当する摂取量が定められているのはどれか。
a 炭水化物
b ナトリウム
c ビタミン D
d たんぱく質

選択肢考察　　**答え c**
× a　炭水化物は目標量が定められているが、耐容上限量は定められていない。
× b　ナトリウムは推定平均必要量や目標量が定められているが、耐容上限量は定められていない。
○ c　①は耐容上限量である。ビタミン D は耐容上限量が定められている。
× d　たんぱく質は推定平均必要量や推奨量、目標量が定められているが、耐容上限量は定められていない。

〔問題 89〕 小学 5 年生のサッカー教室に通う 25 組の親子に対して、食育関連の話をすることになった。対象者の特徴を以下に示す。

練習時間：土・日　8 時～11 時　　火・金　17 時～19 時
食　習　慣：練習里側の欠食者が 20 名であった。
練習中、スポーツドリンク、菓子の摂取をしている。
練習後、菓子パンやスナック菓子を摂取する者が数名いる。
ローレル指数：全体平均は標準である。
口腔内状況：第一小臼歯、第二小臼歯および第二大臼歯未萌出の者が多いため、咬み合わせは不安定である。

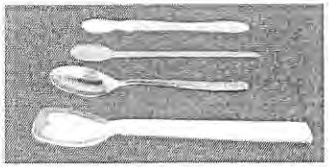
歯科衛生士の講話として適切なのはどれか。2 つ選べ。
a 間食の選択
b 肥満と食事内容
c 軟性食材と仕上げ磨き
d 口腔状況とよく噛むことの必要性

選択肢考察　　**答え a d**
○ a　練習中にスポーツドリンク、練習後に菓子パンやスナック菓子を摂取する者が数名いるため、間食の選択は講話内容として適切である。
× b　ローレル指数の全体平均は標準のため、肥満と食事内容を講話する必要はない。
× c　口腔内状況から咬み合わせが不安定であるが、咬合の問題と考えられるため、軟性食材と仕上げ磨きを講話する必要はない。
○ d　口腔内状況から第一小臼歯、第二小臼歯および第二大臼歯の萌出途上と考えられるため、口腔状況とよく噛むことの必要性は講話内容として適切である。

〔問題 90〕 3歳の男児。食事が上手に食べられないことを主訴として来院した。出生時に脳性麻痺と診断され、現在日常生活は全介助であるという。口腔内診査の結果、歯列咬合に異常はないが、噛みしめが非常に強かった。保護者が持参した患児用に購入した食具の写真（別冊午前 No.24）を別に示す。①と④はシリコーン製、②と③は金属製である。
保護者に勧めるのはどれか。
a ①　b ②　c ③　d ④

別冊 午前 No.24

選択肢考察　　答え b



×a、×d 咬反射の強い児であれば金属製を避けてシリコーン製を選択する。
○b、×c 噛みしめが非常に強いことからシリコーン製を避けて金属製を選択する。スプーンのボール部の幅は口角距離の 2/3 程度までとする。脳性麻痺と診断されており、口唇閉鎖が弱いと考えられるため、スプーンのボール部は浅いものが好ましい。

〔問題 91〕 両唇音はどれか。2つ選べ。
a タ
b パ
c マ
d ラ

選択肢考察　　答え b c

×a、×d /t/や/r/は歯茎音である。
○b、○c /p/や/m/は両唇音である。

〔問題 92〕 意識障害に伴う嚥下障害がみられる急性期脳血管疾患患者への口腔ケアの目的はどれか。2つ選べ。
a 流涎の予防
b 肺炎の予防
c 味覚障害の予防
d 廃用による口腔機能低下の予防

選択肢考察　　答え b d

×a、×c 意識障害に伴う嚥下障害がみられる急性期脳血管疾患患者に対して口腔ケアを行っても、流涎の予防や味覚障害の予防とはならない。
○b 意識障害に伴う嚥下障害がみられる急性期脳血管疾患患者に対して口腔ケアを行うことで、誤嚥性肺炎を予防することができる。
○d 口腔ケアは口腔清掃だけでなくリハビリテーションとしても有効であるため、意識障害に伴う嚥下障害がみられる急性期脳血管疾患患者に対して口腔ケアを行うことで、廃用による口腔機能低下を予防することができる。

〔問題 93〕 摂食機能障害者に対して水の入ったコップとストローを使用した間接訓練の写真（別冊午前 No.25）を別に示す。この訓練の目的はどれか。
a 咬合力の増強
b 声門閉鎖機能の強化
c 鼻咽腔閉鎖機能の強化
d 舌の食塊形成機能の向上

別冊 午前 No.25

選択肢考察　　答え c

ブローイング

×a ブローイングにより咬合力は増強しない。
×b 声門閉鎖機能の強化は声門閉鎖訓練の目的である。
○c ブローイングは呼吸訓練である。吹く動作（口腔気流）により鼻咽腔が反射的に閉鎖されることを利用して、鼻咽腔閉鎖に関わる神経や筋群の機能を改善させる訓練のため、鼻咽腔閉鎖機能が強化される。
×d 舌の食塊形成機能の向上は舌訓練の目的である。

〔問題 94〕 摂食嚥下障害の間接訓練で、口腔内の感覚機能を高めて嚥下運動を誘発するのはどれか。
a 脱感作療法
b ガムラビング
c 筋刺激訓練法
d 味覚刺激訓練

選択肢考察　　答え b

×a 脱感作療法は顎顔面領域の触刺激に対する過敏を除去する療法である。
○b ガムラビングは嚥下促通訓練の1つであり、口腔内の感覚機能を高めて嚥下運動を誘発する。
×c 筋刺激訓練法は口唇や頬、舌の筋群を刺激することで、筋力の獲得や維持・回復、可動域の拡大、運動コントロールの改善を図ることが目的である。
×d 味覚刺激訓練を行っても嚥下運動は誘発されない。

〔問題 95〕 54歳の女性。5日前に脳血管疾患を発症し入院中である。病室にて口腔清掃準備時の写真（別冊午前 No.26）を別に示す。患者の意識状態は、Japan Coma Scale Ⅲ-200 である。
口腔衛生管理を行うにあたり、患者に負担のない姿勢はどれか。2つ選べ。
a 座　位
b 仰臥位
c 側臥位
d セミファーラー位

別冊 午前 No.26

選択肢考察　　答え b d

寝たきり（刺激を加えても覚醒せず）

×a、×c Japan Coma Scale Ⅲ-200 は刺激を加えても覚醒せず、痛み刺激で手足を動かしたり顔をしかめたりする状態であり、座位や側臥位は患者に負担となる。
○b、○d Japan Coma Scale Ⅲ-200 のため、口腔衛生管理を行うにあたり、仰臥位やセミファーラー位が患者に負担のない姿勢である。

〔問題 96〕 擦式手指消毒の手順で最初に行うのはどれか。
a 手　掌
b 手　首
c 拇　指
d 手指間

選択肢考察　　答え a

○a、×b、×c、×d
手順は以下の通りである。
①速乾性擦込式手指消毒剤を適量（約3mL）手掌にとる。
②手掌を合わせてよくこすり、手の甲、指先、爪の間、指の間をこする。
③拇指を反対の手掌でねじり洗いをする。
④手首を洗う。
したがって、手掌→手指間→拇指→手首の順となる。

〔問題 97〕 歯科用ユニットのエアコンプレッサーで正しいのはどれか。2つ選べ。
a 作動音は小さい。
b 電源は常に入れておく。
c 水抜きバルブが設けられている。
d エアタービンハンドピースの動力源となる。

選択肢考察　　答え c d

×a 作動音は大きいので、機械室内に設置する。
×b 使用しないときには電源を切っておく。
○c 配管内に水分が溜まりやすいので水抜きバルブが設けられている。
○d エアタービンやエアスケーラーの動力源となる。

〔問題 98〕 従来型グラスアイオノマーセメントについて正しいのはどれか。
a 光で硬化する。
b 硬化時に水を添加する。
c 硬化後は十分な乾燥が必要である。
d フッ化物のリチャージが可能である。

選択肢考察　　答え d

×a 光で硬化するのは光重合型である。
×b 硬化中に水と接するとセメント表面からカルシウムイオンやアルミニウムイオンが溶出し、硬化反応が阻害され、表面が白濁する初水という現象が起こる。
×c 乾燥すると亀裂が入るのは硬化中で、硬化後はとくに影響は受けない。
○d 歯磨剤やフッ化物歯面塗布などにより、セメント本体にそのフッ素イオンを取り込み、蓄積し再放出する。つまり、高濃度のフッ素に接するとフッ化物のリチャージが可能である。

〔問題 99〕 22歳の女性。上顎左側第一小臼歯のう蝕治療を希望して来院した。修復処置を行い、本日修復物の装着を予定している。装着前の修復物の写真（別冊午前 No.27）を別に示す。
合着前に行う処理はどれか。2つ選べ。
a フッ酸処理
b サンドブラスト
c リン酸エッチング
d イオウ含有プライマー塗布

別冊 午前 No.27

選択肢考察　　答え b c

コンポジットレジンインレー（あるいはセラミックインレー）

×a フッ酸処理は陶材焼付金属冠の製作過程で行われる処置である。
○b サンドブラスト処理は修復物内面に行う。被着面の汚染を除去し、微細凹凸を形成することで接着面積を増大する。維持力を高める目的で行う。
○c リン酸エッチングはエナメル質に行う。接着性レジンのぬれを向上させ、エナメル質接着面積を増大させる目的で行う。
×d イオウ含有プライマーとは貴金属に有効なメタルプライマーである。

〔問題 100〕 16歳の女子。上顎前歯部の審美障害を主訴として来院した。診査の結果、エナメル質に限局したう蝕と診断された。コンポジットレジン修復を行うことになったが、患者は重度の歯科恐怖症であり、特にタービンの音には敏感に反応するという。Er：YAG レーザーを用いて治療することになった。
治療前に行うのはどれか。2つ選べ。
a 換気を確認する。
b 診療室を暗くする。
c 酸素吸入器を準備する。
d 保護用ゴーグルを準備する。

選択肢考察　　答え a d

○a 煙が発生するので換気を確認する。
×b 診療室を暗くする必要はなく、通常の明るさで使用する。
×c 酸素吸入器は不要である。
○d 眼や皮膚などの傷害防止に十分留意する必要があり、保護用ゴーグルを着用する。

〔問題 101〕 38歳の女性。上顎左側第一大臼歯の温熱痛を主訴として来院した。歯髄炎と診断され、根管治療を開始した。治療中に撮影したエックス線写真（別冊午前 No.28）を別に示す。
撮影の目的はどれか。
a う蝕の確認
b 根管長の確認
c 根尖病巣の位置
d 根管充填の状態

別冊 午前 No.28

選択肢考察　　答え　b

×a　う蝕の確認は治療前に撮影したエックス線写真で行う。
○b　リーマー類を根管内に挿入して撮影しているので、根管長や根管の走行を確認している。
×c　根尖病巣の位置は治療前に撮影したエックス線写真で確認する。
×d　根管充塡はまだ行っていない。

〔問題 102〕 45 歳の男性。下顎第一大臼歯の全部金属冠の印象採得を行うことになった。圧排糸を用いて歯肉排除を行うよう歯科医師から指示された。
正しいのはどれか。2 つ選べ。
a　支台歯の歯頸部全周より数 mm 短いものを使用する。
b　硫酸アルミニウムを浸透させる。
c　ジンパッカーで歯肉溝に挿入する。
d　探針で取り出す。

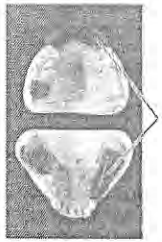
選択肢考察　　答え　b c

×a　支台歯の歯頸部全周より数 mm 長いものを使用する。
○b　血管収斂剤（硫酸アルミニウム、塩化アルミニウム）や血管収縮剤（アドレナリン）を浸透させる。
○c　ジンパッカーで歯肉溝に挿入し、3 ～ 5 分間放置する。
×d　印象採得直前にピンセットで辺縁歯肉を刺激しないように取り出す。

〔問題 103〕 歯科技工物の写真（別冊午前 No.29）を別に示す。
治療時に用意するのはどれか。2 つ選べ。
a　コンタクトゲージ
b　ワックススパチュラ
c　パラフィンワックス
d　モデリングコンパウンド

別冊 午前 No.29

選択肢考察　　答え　b c



×a　コンタクトゲージはインレー、クラウン、ブリッジの治療時に使用するもので、義歯による治療時には使用しない。
○b、○c　写真は部分床義歯製作過程の咬合採得時に使用する咬合床である。ろう堤の部分はパラフィンワックスで構成されており、ワックススパチュラを用いて形態を修正したり、軟化させる。
×d　モデリングコンパウンドは概形印象採得で使用する非弾性印象材である。

〔問題 104〕 伝達麻酔のカートリッジ式注射器について正しいのはどれか。2 つ選べ。
a　浸潤麻酔に使用できる。
b　ハンドルはリング状である。
c　プランジャーの先端は平坦である。
d　注射針は 30G（ゲージ）を使用する。

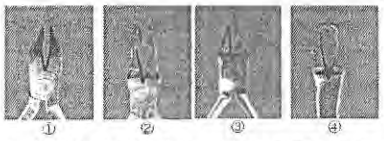
選択肢考察　　答え　a b

○a　浸潤麻酔にも使用できる。
○b　薬液の血管内注入を予防するため、薬液注入前の吸引操作ができるようにハンドル（親指をかける部分）はリング状になっている。
×c　プランジャー（内筒）の先端はらせん状またはモリ状である。先端が平坦なのは浸潤麻酔用である。
×d　注射針は伝達麻酔用に 25G、27G、浸潤麻酔用に 30G、31G、33G を使用する。

〔問題 105〕 器具の写真（別冊午前 No.30）を別に示す。
帯環の調整に用いるのはどれか。
a　①　　b　②　　c　③　　d　④

別冊 午前 No.30

選択肢考察　　答え　b



×a　①はピンアンドリガチャーカッターである。リガチャーワイヤー（結紮線）の切断に用いる。
○b　②はバンドコンタリングプライヤーである。バンド〈帯環〉の賦形に用いる。
×c　③はバードビークプライヤーである。細いワイヤーの屈曲、各種ループの屈曲に用いる。
×d　④はブラケットリムービングプライヤーである。歯面からブラケットの撤去に用いる。

〔問題 106〕 小児歯科治療時の行動療法的対応法はどれか。2 つ選べ。
a　開口の保持
b　モデリング
c　トークンエコノミー
d　ハンドオーバーマウス

選択肢考察　　答え　b c

×a　開口の保持は抑制的対応法である。開口困難な小児、長時間の開口が必要な小児には開口器やバイトブロックを用いる。
○b　モデリング法は他人（モデル）が示した模範的な行動を観察させて、同じように行動させようとする方法である。行動療法的対応法の 1 つである。
○c　トークンエコノミー法は治療後にシールやカードなどのご褒美をあげて、患児を褒めて自信をつけさせていく方法である。行動療法的対応法の 1 つである。
×d　ハンドオーバーマウス法（HOM 法）は抑制的対応法である。小児の口を術者の手で覆い、患児の注意力を集中させ鎮静させる方法である。健常児で不安、恐怖心から泣き騒ぎ、術者の話を聞こうとしない子を対象に行う。

〔問題 107〕 高齢者の脱水状態を把握するのに有用な検査項目はどれか。
a　白血球分画
b　クロスマッチ
c　ヘマトクリット値
d　プロトロンビン時間

選択肢考察　　答え　c

×a　白血球分画とは白血球数総数中の好中球、好酸球、好塩基球、リンパ球、単球の割合（%）で、好中球が 72% 以上だと細菌感染症が疑われる。
×b　クロスマッチ〈交差適合試験〉とは輸血に伴う副作用を防止するために行われる検査である。
○c　ヘマトクリット値とは全血液中に占める赤血球の容積比率（%）である。基準値（35 ～ 52%）より減少している場合は貧血、増加している場合は多血症が疑われる。脱水状態の場合は、血液内の水分も減少するので相対的に血液中の赤血球濃度は高くなり、ヘマトクリット値は高値を示す。
×d　プロトロンビン時間とは血液凝固因子の外因系の異常を調べる検査項目である。基準値（10 ～ 20 秒）より延長する場合は外因系の異常が疑われる。

〔問題 108〕 聴覚障害を有する患者の対応で適切なのはどれか。2 つ選べ。
a　筆談の準備をする。
b　ジェスチャーを用いる。
c　肩に手を置いて誘導する。
d　補聴器の音量を最大にする。

選択肢考察　　答え　a b

○a　筆談を行うのは有効である。
○b　ジェスチャーを用いるのは有効である。
×c　肩に手を置いて誘導するのは視覚障害を有する患者への対応である。
×d　補聴器の音量は最大ではなく、適切な音量にする。

〔問題 109〕 エックス線写真フィルムの保管で正しいのはどれか。2 つ選べ。
a　乾燥して保管する。
b　ケースを使用する。
c　診療録にテープで貼りつける。
d　患者氏名をフィルムに書き込む。

選択肢考察　　答え　a b

○a　乾燥して保管する。
○b　ケースを使用してフィルムマウントを行う。
×c　診療録にテープで貼りつけてはいけない。診療録とは別にして保管する。
×d　患者氏名をフィルムに書き込むと傷がつくので避ける。

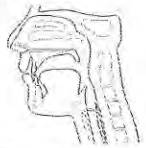
〔問題 110〕 46 歳の男性。下顎左側第二小臼歯のインレー脱離を主訴として来院した。局所麻酔後、軟化象牙質の除去中に意識レベルが低下し、顔面蒼白、徐脈および血圧低下を認めた。
適切な対応はどれか。2 つ選べ。
a　衣服をゆるめる。
b　AED を装着する。
c　深呼吸をすすめる。
d　姿勢を半座位にする。

選択肢考察　　答え　a c

○a、○c、×d　局所麻酔後、意識レベルが低下し、顔面蒼白、徐脈および血圧低下を認めたことから迷走神経反射〈神経性ショック〉と考えられる。処置としては、身体を水平位にして下肢を高くし、衣服をゆるめる。やさしく話しかけて安心感を与え、深呼吸をすすめる。
×b　意識がなく、正常な呼吸がみられないときには AED を装着する。

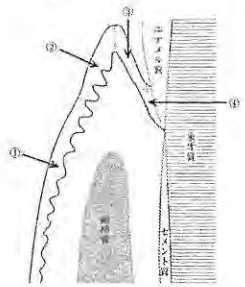
解説（午後問題）

〔問題　1〕 頭頸部のある断面を図に示す。
この断面の名称はどれか。
a　横断面
b　水平断面
c　矢状断面
d　前頭断面



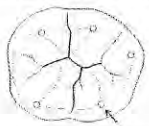
選択肢考察　答え　c
×a　横断面は水平断面ともいう。
×b　水平断面は直立して地面に平行な面である。
○c　図は身体を左右にわける面なので矢状断面である。
×d　前頭断面は矢状断面に垂直な鉛直面である。

〔問題　2〕 歯周組織の断面図を示す。
付着上皮〈接合上皮〉はどれか。
a　①
b　②
c　③
d　④

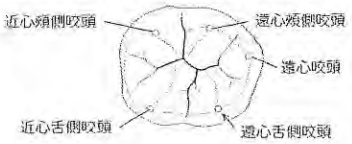


選択肢考察　答え　d
×a　①は付着歯肉の外縁上皮である。
×b　②は遊離歯肉の外縁上皮である。
×c　③は内縁上皮の中の歯肉溝上皮である。
○d　④は内縁上皮の中の付着上皮〈接合上皮〉である。

〔問題　3〕 下顎第一大臼歯の咬合面を模式図に示す。○は咬頭頂を示す。
矢印で示すのはどれか。
a　近心頬側咬頭
b　近心舌側咬頭
c　遠心頬側咬頭
d　遠心舌側咬頭



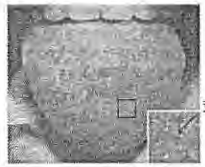
選択肢考察　答え　d
×a、×b、×c、○d
図に示すように矢印は遠心舌側咬頭である。



〔問題　4〕 舌の写真と線で囲んだ部位の拡大写真（別冊午後 No.1）を別に示す。
矢印で示すのはどれか。
a　糸状乳頭
b　茸状乳頭
c　葉状乳頭
d　有郭乳頭

別冊 午後 No.1

選択肢考察　答え　b



×a　糸状乳頭は最も小さく表面が角化している乳頭で、舌背全面に分布している。舌乳頭の中で唯一味蕾がみられない。
○b　矢印は赤く丸い茸状なので茸状乳頭で、味蕾がみられる。
×c　葉状乳頭は舌後部の側面にみられるヒダで、味蕾がみられる。
×d　有郭乳頭は分界溝の前に並ぶ大きな乳頭で、味蕾がみられる。

〔問題　5〕 骨格筋細胞の筋小胞体から放出されるのはどれか。
a　ATP
b　アクチン
c　トロポニン
d　カルシウムイオン

選択肢考察　答え　d
×a　ATP〈アデノシン三リン酸〉はミトコンドリアで産生される。筋収縮のエネルギー源として用いられる。
×b　細いフィラメントのアクチンが太いフィラメントのミオシンに滑り込み、筋収縮が起こる。
×c　細いフィラメントはアクチン・トロポミオシン・トロポニンによって形成され、中でもトロポニンはカルシウムイオンと結合するので、筋収縮に重要な役割をもつ。
○d　筋小胞体からカルシウムイオンが放出され、細胞質内へ拡散する。

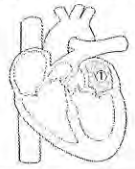
〔問題　6〕 象牙質に多く含まれるコラーゲンはどれか。
a　Ⅰ　型
b　Ⅱ　型
c　Ⅲ　型
d　Ⅴ　型

選択肢考察　答え　a
○a　象牙質はⅠ型が主体である。Ⅰ型は骨、象牙質、セメント質にみられる。
×b　Ⅱ型は軟骨、硝子体にみられる。
×c　Ⅲ型は骨、象牙質、セメント質にみられる。
×d　Ⅴ型は骨、象牙質、セメント質にみられる。

〔問題　7〕 開口反射で正しいのはどれか。
a　片側性に起こる。
b　閉口筋が抑制される。
c　筋紡錘が受容器である。
d　単シナプス反射である。

選択肢考察　答え　b
×a　片側性ではない。
○b　閉口筋の抑制と開口筋の収縮が起こる。
×c　受容器は上顎神経と下顎神経の痛覚受容器、機械受容器である。筋紡錘が受容器なのは下顎張反射である。
×d　開口反射は多シナプス反射である。下顎張反射と歯根膜咬筋反射は単シナプス反射である。

〔問題　8〕 心臓の構造を図に示す。
①で形成された血栓が遊離して梗塞を起こしやすいのはどれか。
a　肝
b　腸
c　脳
d　肺



選択肢考察　答え　c
×a、×b、○c、×d
①は左心房である。左心房で形成された血栓は左心室に移動し、大動脈を通り、冠状動脈に移動するか、総頸動脈に移動することが多い。冠状動脈に移動したら心筋梗塞、総頸動脈に移動したら脳梗塞を起こしやすい。

〔問題　9〕 アブフラクションについて正しいのはどれか。
a　咬合面に生じる。
b　過度の咬合圧によって生じる。
c　エナメル質に限局して生じる。
d　酸の曝露による職業性歯科疾患である。

選択肢考察　答え　b
×a、○b　アブフラクションとは過度の咬合圧で歯頸部の歯質が楔状に破壊される現象のことである。
×c　エナメル質や象牙質に生じる。
×d　酸の曝露による職業性歯科疾患とは酸蝕症のことである。

〔問題　10〕 口腔領域と同じ組織系の悪性腫瘍が発生するのはどれか。
a　食　道
b　胃
c　小　腸
d　大　腸

選択肢考察　答え　a、b、c、d（厚労省発表）
○a　口腔領域の悪性腫瘍はほとんどが扁平上皮癌である。食道癌もほとんどが扁平上皮癌である。
○b　胃癌はほとんどが腺癌であるが、扁平上皮癌もみられる。
○c　小腸はほとんどが腺癌であるが、扁平上皮癌もみられる。
○d　大腸はほとんどが腺癌であるが、扁平上皮癌もみられる。

〔問題　11〕 免疫グロブリンの構造を図に示す。
該当するのはどれか。
a　血清中に最も多く存在する。
b　抗原結合部位は 2 か所である。
c　粘膜の感染防御に重要である。
d　アナフィラキシー反応を引き起こす。

選択肢考察　答え　c
×a　図は分泌型 IgA である。唾液中に最も多く存在する免疫グロブリンである。
×b　抗原結合部位は 4 か所である。
○c　微生物の歯や粘膜への感染防御に重要である。
×d　アナフィラキシー反応を引き起こすのは IgE である。

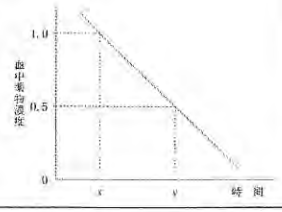
〔問題　12〕 鉄結合能を有する唾液中の抗菌物質はどれか。
a　ヒスタチン
b　リゾチーム
c　ディフェンシン
d　ラクトフェリン

選択肢考察　答え　d
×a　ヒスタチンは細菌が口腔内に定着するのを抑制する抗菌物質である。
×b　リゾチームは細菌の細胞壁のペプチドグリカン層を分解する抗菌物質である。
×c　ディフェンシンは抗菌ペプチドであり、自然免疫ではたらく作用因子の 1 つである。
○d　ラクトフェリンは鉄のキレート作用により、細菌の鉄の利用を阻害する抗菌物質である。

〔問題　13〕 局所麻酔薬にアドレナリンを添加する目的はどれか。
a　感染の防止
b　効果の持続
c　炎症の抑制
d　不安の除去

選択肢考察　答え　b
×a　感染防止の目的はない。
○b　麻酔効果の持続時間を延長させる目的がある。そのほかに注射部位の血流を減少させる、麻酔薬の血中濃度の上昇を防ぐ、投与部位の出血を少なくする目的がある。
×c　炎症抑制の目的はない。
×d　不安除去の目的はない。

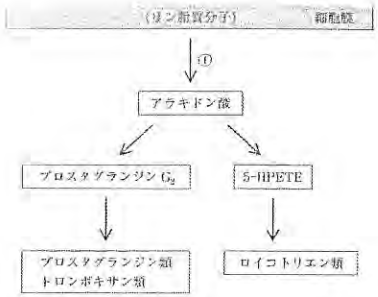
〔問題　14〕 血中薬物濃度－時間曲線を図に示す。血中薬物濃度が 1.0 と 0.5 に対するそれぞれの時間を x と y とする。
生物学的半減期はどれか。
a　(y − x) /2
b　(x − y) /2
c　y − x
d　x − y



選択肢考察　答え　c
×a、×b、○c、×d
生物学的半減期とは、ある薬物の血中濃度がその半分に

なるまでの時間をいう。血中薬物濃度が 1.0 から 0.5 と半分になるまでの時間（生物学的半減期）は y − x である。

〔問題 15〕 アラキドン酸カスケードを図に示す。



①の反応を抑制するのはどれか。
a　解熱性鎮痛薬
b　ステロイド性抗炎症薬
c　酸性非ステロイド性抗炎症薬
d　塩基性非ステロイド性抗炎症薬

選択肢考察　　答え　b
× a　解熱性鎮痛薬の作用機序は不明であるが、解熱、鎮痛作用を示す。
○ b　①の反応には酵素であるホスホリパーゼ A_2 が関与する。この活性を抑制するのがステロイド性抗炎症薬である。
× c　酸性非ステロイド性抗炎症薬はアラキドン酸からプロスタグランジンを生成するのに必要な酵素であるシクロオキゲナーゼの活性を抑制する。
× d　塩基性非ステロイド性抗炎症薬の作用機序は不明だが、プロスタグランジン生合成抑制作用を示さない。抗炎症作用は酸性非ステロイド性抗炎症薬より弱い。

〔問題 16〕 Hirschfeld の清掃不可能部位はどれか。
a　咬　頭
b　歯頸部
c　隣接面
d　小窩裂溝

選択肢考察　　答え　d
× a、× b、× c　これらは清掃可能部位である。
○ d　小窩裂溝は Hirschfeld の清掃不可能部位である。

〔問題 17〕 洗口剤の成分で殺菌作用を示すのはどれか。
a　安息香酸
b　トラネキサム酸
c　サッカリンナトリウム
d　塩化セチルピリジニウム

選択肢考察　　答え　d
× a　安息香酸は洗口剤の成分で防腐剤である。
× b　トラネキサム酸は洗口剤の成分で出血抑制剤である。
× c　サッカリンナトリウムは洗口剤の成分で香味剤である。
○ d　塩化セチルピリジニウムは洗口剤の成分で殺菌剤である。

〔問題 18〕 不溶性グルカンを合成するのはどれか。
a　インベルターゼ
b　デキストラナーゼ
c　グルコシルトランスフェラーゼ
d　フルクトシルトランスフェラーゼ

選択肢考察　　答え　c
× a　インベルターゼはスクロース〈ショ糖〉をグルコースとフルクトースに分解する酵素である。
× b　デキストラナーゼは水溶性グルカン〈デキストラン〉を分解する酵素である。
○ c　グルコシルトランスフェラーゼはグルカンを合成する酵素であり、不溶性グルカンも合成される。
× d　フルクトシルトランスフェラーゼはフルクタンを合成する酵素である。

〔問題 19〕 口臭の原因となる揮発性硫化物はどれか。2 つ選べ。
a　アセトン
b　アセトアルデヒド
c　メチルメルカプタン
d　ジメチルサルファイド

選択肢考察　　答え　c d
× a　アセトンは糖尿病患者でみられる口臭の原因物質であるが、揮発性硫化物ではない。
× b　アセトアルデヒドは口臭の原因物質であるが、揮発性硫化物ではない。
○ c、○ d　硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイドは口臭の原因物質で、揮発性硫化物である。

〔問題 20〕 □ に入るのはどれか。
DMF とは永久歯列におけるう蝕の □ を表す。
a　経　験
b　発　生
c　増　加
d　重　度

選択肢考察　　答え　a
○ a、× b、× c、× d
DMF とは永久歯列におけるう蝕の経験を表すものである。

〔問題 21〕 1 万人の母集団から標本 100 人を抽出する方法を図に示す。

この標本抽出法はどれか。
a　有意抽出法
b　系統抽出法
c　層化抽出法
d　多段抽出法

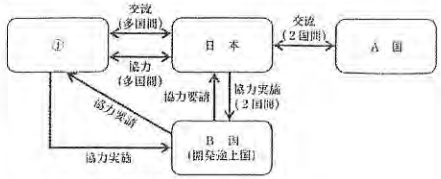
選択肢考察　　答え　c
× a　有意抽出法は、母集団から調査者が意図的に標本を抽出する方法である。
× b　系統抽出法は、単純無作為抽出法の原理を変えず、やり方を簡便にした方法である。

○ c　層化抽出法は、母集団をさまざまな層にわけ、その層ごとに標本を抽出していく方法である。図では母集団を 20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代とわけ、その層ごとに 10 人、20 人、30 人、40 人と標本を抽出している。
× d　多段抽出法は、複数の段階にわけて標本を抽出する方法である。

〔問題 22〕 健康増進法に基づいて市町村が実施するのはどれか。2 つ選べ。
a　健康教育
b　日常生活支援
c　生活機能評価
d　健康手帳の交付

選択肢考察　　答え　a d
○ a、○ d　健康教育や健康手帳の交付は「健康増進法」に基づいて市町村が実施する。
× b、× c　日常生活支援や生活機能評価は「介護保険法」に基づいて市町村が実施する。

〔問題 23〕 国際保健協力の仕組みを図に示す。



①に該当するのはどれか。2 つ選べ。
a　WHO
b　JICA
c　JAICOH
d　UNICEF

選択肢考察　　答え　a d
○ a　①に該当するのは多国間協力の組織である。WHO は多国間交流、多国間協力の組織である。
× b　JICA は 2 国間協力の組織である。
× c　JAICOH は 2 国間協力の組織である。
○ d　UNICEF は多国間協力の組織である。

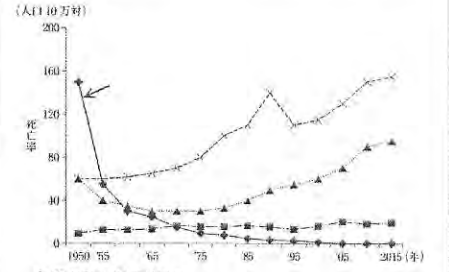
〔問題 24〕 □ に入るのはどれか。
健康日本 21（第二次）において、健康寿命とは「健康上の問題で □ が制限されることなく生活できる期間をいう」とされた。
a　職業生活
b　医療受診
c　社会参加
d　日常生活

選択肢考察　　答え　d
× a、× b、× c、○ d
健康日本 21（第二次）において、健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいう」とされた。

〔問題 25〕 人口動態統計において、一人の女子が 15 ～ 49 歳の間に産む子供の数を示す指標はどれか。
a　出生率
b　総再生産率
c　純再生産率
d　合計特殊出生率

選択肢考察　　答え　d
× a　出生率によって母子保健対象者の把握が可能である。出生率は近年減少しており、我が国は最も低率の国の 1 つとなっている。
× b　総再生産率は出生を女子に限った指標である。
× c　純再生産率は女児が妊娠可能な年齢（49 歳）を過ぎるまでの死亡を見込んだ指標である。
○ d　合計特殊出生率は 1 人の女子が 15 ～ 49 歳の間に産む子供の数を示す指標である。合計特殊出生率から総人口の増減を予測できる。

〔問題 26〕 人口動態統計における死因別にみた死亡率の推移を図に示す。



矢印で示すのはどれか。
a　結　核
b　肺　炎
c　心疾患
d　肝疾患

選択肢考察　　答え　a
○ a　矢印で示されているのは結核（◆）である。1950 年代に急激に減少していることが有徴である。
× b　肺炎は（▲）である。
× c　心疾患は（×）である。
× d　肝疾患は（■）である。

〔問題 27〕 定期学校健康診断に先だって行うのはどれか。
a　保健相談
b　保健学習
c　予防処置
d　保健調査

選択肢考察　　答え　d
× a、× c　これらは定期学校健康診断の結果に基づき行われる。
× b　保健学習は学習指導要領に基づき、各教科において実施される。
○ d　定期学校健康診断に先だって健康状態や生活習慣に関する保健調査が行われる。

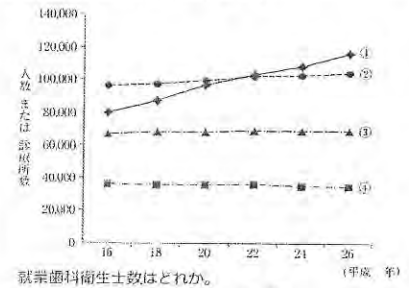
〔問題 28〕 トータルヘルスプロモーションプランの第一段階として取り組むのはどれか。
a　健康測定
b　保健指導
c　栄養指導
d　メンタルヘルスケア

選択肢考察　　答え　a
○a、×b、×c、×d
トータルヘルスプロモーションプランは第1段階としてすべての労働者に対して健康測定を行い、第2段階として必要に応じて運動指導、保健指導、メンタルヘルスケア、栄養指導を行う。

〔問題 29〕 就学時の健康診断を実施する主体はどれか。
a　学校長
b　学校設置者
c　学校保健委員会
d　市町村教育委員会

選択肢考察　　答え　d
×a　学校長は学校定期健康診断を実施する主体である。毎学年6月30日までに実施するように定められている。
×b　学校設置者は健康診断を実施する主体ではない。学校設置者には学級閉鎖と学校閉鎖の権限がある。
×c　学校保健委員会は学校保健運営組織であるが、就学時の健康診断を実施する主体ではない。
○d　市町村教育委員会は就学時の健康診断を実施する主体である。

〔問題 30〕 歯科医師数、就業歯科衛生士数、就業歯科技工士数および歯科診療所数の推移を図に示す。



就業歯科衛生士数はどれか。
a　①　b　②　c　③　d　④

選択肢考察　　答え　a
○a　①は就業歯科衛生士数である。
×b　②は歯科医師数である。
×c　③は歯科診療所数である。
×d　④は就業歯科技工士数である。

〔問題 31〕 歯科衛生士の業務で正しいのはどれか。
a　仮封材を除去する。
b　インレーを装着する。
c　エックス線を照射する。
d　主訴を聞き取り診療録に記入する。

選択肢考察　　答え　a
○a　仮封材を除去するのは歯科衛生士あるいは歯科医師である。
×b　インレーを装着するのは歯科医師である。
×c　エックス線を照射するのは歯科医師である。
×d　主訴を聞き取り診療録に記入するのは歯科医師である。

〔問題 32〕 医療倫理の4つの原則でないのはどれか。
a　正　義
b　共　感
c　無危害
d　自律の尊重

選択肢考察　　答え　b
○a、×b、○c、○d
伝統的な医の倫理では、「善行の原則」と「無危害の原則」という2つの道徳原則に従っていればよかった。その後、患者の自己決定を尊重する「自律尊重の原則」と医療の社会的問題を考察するために公平や公正を尊重する「正義の原則」を加えて、「医療倫理の四原則」という。

〔問題 33〕 89歳の女性。認知症高齢者の日常生活自立度判定基準はレベルⅡbである。介護支援専門員より依頼があり、歯科訪問診療を開始した。初回訪問時の様子を以下に示す。

口腔清掃を実施した際に、上顎臼歯部頬側と咽頭近くに粉状の薬の残留が認められた。また、錠剤をうまく取り出すことができず、床に落としたりすることがあるという。

連携が必要なのはどれか。
a　薬剤師
b　栄養士
c　臨床検査技師
d　精神保健福祉士

選択肢考察　　答え　a
○a、×b、×c、×d
認知症高齢者の日常生活自立度判定基準のレベルⅡbは、家庭内で日常生活に支障をきたすような症状、行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる状態である。具体例としては、服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との応対など一人で留守番ができない場合である。初回訪問時の様子で「口腔内に粉状の薬の残留が認められ、錠剤をうまく取り出すことができず、床に落としたりする」ことから薬剤師との連携が必要と考えられる。

〔問題 34〕 摂食機能障害に対して検査を実施した。検査中の写真（別冊午後 No.2）を別に示す。
正しいのはどれか。
a　誤嚥検出の感度が高い。
b　長時間の検査が可能である。
c　唾液の咽頭部貯留が観察できる。
d　ベッドサイドで検査が可能である。

別冊 午後 No.2

選択肢考察　　答え　a

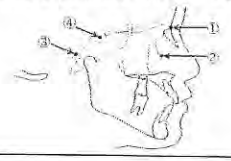
嚥下造影検査

○a　写真の検査は嚥下造影検査であり、誤嚥検出の感度が高い。
×b　嚥下造影検査はエックス線を照射しながら行う検査である。長時間の検査はできない。
×c　唾液は造影性がないため、嚥下造影検査で唾液の咽頭部貯留は観察できない。
×d　嚥下造影検査はエックス線室で行う検査であり、ベッドサイドでは検査ができない。

〔問題 35〕 Hellman の歯齢ⅡA期からⅣA期になるにつれて大きくなるのはどれか。2つ選べ。
a　霊長空隙
b　歯列弓長径
c　前歯部被蓋
d　切歯歯軸傾斜角

選択肢考察　　答え　b c（厚労省発表）
×a　霊長空隙は乳歯列にみられる空隙であり、ⅣA期ではみられない。
△b　歯列弓長径は Hellman の歯齢ⅡA期から混合歯列期になるにつれ大きくなっていく。しかし、混合歯列期の後期にリーウェイスペースにより第一大臼歯が近心移動するため歯列弓長径は小さくなる。したがって、Hellman の歯齢ⅡA期からⅣA期になるにつれて大きくなるとはいいがたい。判断に悩む選択肢であるが、厚労省は正解としている。
○c　前歯部被蓋は Hellman の歯齢ⅡA期からⅣA期になるにつれて大きくなる。
△d　切歯歯軸傾斜角が上下顎切歯歯軸傾斜角を意味するのであれば、乳歯と比較して永久歯で小さい。しかし、切歯歯軸傾斜角が上顎切歯歯軸傾斜角あるいは下顎切歯歯軸傾斜角を意味するのであれば、乳歯と比較して永久歯で大きい。判断に悩む選択肢であるが、厚労省は不正解としている。

〔問題 36〕 頭部エックス線規格写真分析（セファロ分析）のトレース図を示す。
フランクフルト平面の設定に必要な計測点はどれか。2つ選べ。
a　①
b　②
c　③
d　④



選択肢考察　　答え　b c
×a、○b、○c、×d
①はナジオン（N）、②はオルビターレ（Or）、③はポリオン（Po）、④はセラ（S）である。フランクフルト平面はオルビターレ（Or）とポリオン（Po）を結んだ線なので、②と③が必要である。

〔問題 37〕 出血性素因のスクリーニング検査で正しいのはどれか。2つ選べ。
a　血小板数
b　血中クレアチニン
c　プロトロンビン時間
d　血中尿素窒素（BUN）

選択肢考察　　答え　a c
○a　血小板数は出血性素因のスクリーニング検査に用いる。
×b　血中クレアチニンは腎機能の検査である。
○c　プロトロンビン時間は出血性素因のスクリーニング検査に用いる。
×d　血中尿素窒素（BUN）は腎機能の検査である。

〔問題 38〕 小臼歯隣接面う蝕修復において Minimal Intervention（MI）で推奨されるのはどれか。
a　メタルインレー
b　レジンインレー
c　硬質レジン前装冠
d　コンポジットレジン充塡

選択肢考察　　答え　d
×a、×b、×c、○d
小臼歯隣接面う蝕修復において Minimal Intervention（MI）で推奨されるのは、歯質削除量が最も少ないコンポジットレジン充塡である。

〔問題 39〕 46歳の女性。上顎右側小臼歯の変色を主訴として来院した。5年前にコンポジットレジン修復を受けたという。疼痛は認められない。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.3）を別に示す。
変色の原因として考えられるのはどれか。
a　保持形態の不良
b　窩洞外形の不備
c　感染歯質の残存
d　仕上げ研磨の不足

別冊 午後 No.3

選択肢考察　　答え　d

×a　保持形態の不良では修復物が脱落しやすい。
×b　窩洞外形の不備では二次う蝕などの原因となる。
×c　感染歯質の残存は歯髄炎の原因となる。
○d　コンポジットレジン周囲に幅が広い褐線がみられるが、これはコンポジットレジンの溢出が関係しており、仕上げ研磨の不足と考えられる。

〔問題 40〕 根管形成に使用するニッケルチタン製ロータリーファイルで正しいのはどれか。2つ選べ。
a　超弾性である。
b　ISO 規格に基づく。
c　彎曲根管に適する。
d　破折リスクが少ない。

選択肢考察　　答え　a c

○a、○c　ニッケルチタン製ロータリーファイルは超弾性であり、彎曲根管に適する。
×b　ニッケルチタン製ロータリーファイルは ISO 規格に基づかず、製品ごとに特徴ある形状となっている。
×d　ニッケルチタン製ロータリーファイルは根管内で破折するリスクが高い。

〔問題 41〕　加圧根管充塡時の術式の模式図を示す。
矢印で示す器具の目的はどれか。
a　空隙を作る。
b　シーラーを塗布する。
c　根尖方向に圧接する。
d　根管壁に接着させる。

選択肢考察　　答え　c

×a　根管充塡は空隙が生じないよう緊密に充塡する。
×b　シーラーを塗布するために根管プラガーは使用されない。
○c　矢印の器具は根管プラガーであり、根管充塡材を根尖方向に圧接するために用いる。
×d　ガッタパーチャポイントは歯質接着性がない。

〔問題 42〕　27 歳の男性。上顎左側側切歯の違和感と疼痛を訴えて来院した。同部の違和感は 4 日前から気付いていたという。同部に波動を触知した。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.4A）とエックス線写真（別冊午後 No.4B）を別に示す。
考えられる対応で、最初に行われるのはどれか。
a　膿瘍切開
b　根尖掻爬
c　根尖切除
d　歯根切断

別冊 午後 No.4A、B

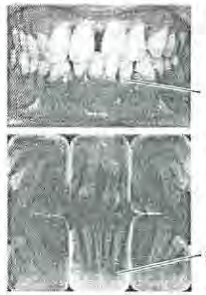
選択肢考察　　答え　a

○a　口腔内写真とエックス線写真から、上顎左側側切歯が原因の膿瘍であると考えられる。波動を触れることから、最初に膿瘍切開を行うと考えられる。
×b、×c　根尖掻爬や根尖切除は外科的歯内療法であり、感染根管治療で治癒しない症例や感染根管治療が困難な症例に適用する。最初に行われるものではない。
×d　歯根切断は大臼歯に行う処置である。

〔問題 43〕　20 歳の女性。歯肉の腫脹、発赤、排膿および歯の動揺を主訴として来院した。10 代の頃から腫脹や排膿があったという。プラークの付着はわずかであった。全身的には特記すべき事項はない。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.5A）とエックス線写真（別冊午後 No.5B）を別に示す。
この疾患の特徴はどれか。2 つ選べ。
a　上皮の剥離
b　家族内集積
c　灰白色の偽膜形成
d　*Aggregatibacter actinomycetemcomitans* が関連

別冊 午後 No.5A、B

選択肢考察　　答え　b d



×a　上皮の剥離は慢性剥離性歯肉炎でみられる。
○b、○d　10 代の頃から症状があり、特に切歯部の骨吸収が進行している点から侵襲性歯周炎と考えられる。侵襲性歯周炎の特徴は家族内集積がみられ、*Aggregatibacter actinomycetemcomitans* が関連していることである。
×c　灰白色の偽膜形成は壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎でみられる。

〔問題 44〕　歯周病が影響を及ぼすと考えられる疾患はどれか。2 つ選べ。
a　糖尿病
b　胃潰瘍
c　高血圧症
d　動脈硬化症

選択肢考察　　答え　a d

○a、○d　歯周病が影響を及ぼすと考えられる疾患として、糖尿病や動脈硬化症が挙げられる。
×b　胃潰瘍は、歯周病が影響を及ぼす疾患とは考えられていない。
×c　高血圧症は、歯周病が影響を及ぼす疾患とは考えられていない。

〔問題 45〕　47 歳の男性。上顎左側大臼歯部の歯肉の腫脹と疼痛を主訴として来院した。上顎左側第一大臼歯口蓋側中央部のプロービング深さは 6mm であり、LDDS を適用することとした。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.6）を別に示す。
用いた薬剤の特徴はどれか。2 つ選べ。
a　徐放性を有する。
b　抗菌作用を有する。
c　バイオフィルムを破壊する。
d　歯周ポケット内を無菌化する。

別冊 午後 No.6

選択肢考察　　答え　a b

○a、○b　LDDS に用いる薬剤の特徴として、徐放性や抗菌作用を有することが挙げられる。ミノサイクリン塩酸塩の徐放性製剤が使用されている。
×c　LDDS に用いる薬剤には、バイオフィルムを破壊するといった特徴はない。
×d　LDDS で歯周ポケット内を無菌化することはできない。

〔問題 46〕　上顎模型を半調節性咬合器に装着するのに用いるのはどれか。
a　バントグラフ
b　チェックバイト
c　フェイスボウトランスファー
d　インターオクルーザルレコード

選択肢考察　　答え　c

×a　バントグラフを用いると下顎運動路の記録が可能になるので、全調節性咬合器の顆路調節に用いられる。
×b　チェックバイトは半調節性咬合器の顆路調節に必要なものであるが、上顎模型を半調節性咬合器に装着するために用いるものではない。
○c　フェイスボウトランスファーとは、フェイスボウ〈顔弓〉を用いて記録した顎関節に対する上顎骨の位置関係を咬合器に移す操作である。
×d　インターオクルーザルレコードは上下顎間関係の記録に用いる。

〔問題 47〕　CAD/CAM 装置を用いて製作できるのはどれか。2 つ選べ。
a　陶材焼付冠
b　全部金属冠
c　レジン前装冠
d　オールセラミッククラウン

選択肢考察　　答え　b d

×a　陶材焼付冠は陶材部分と金属部分があるので、CAD/CAM 装置では製作できない。
○b　全部金属冠はチタンブロックを CAD/CAM 装置で切削加工して製作できる。
×c　レジン前装冠はレジン部分と金属部分があるので、CAD/CAM 装置では製作できない。
○d　オールセラミッククラウンはセラミックブロックを CAD/CAM 装置で切削加工して製作できる。

〔問題 48〕　縮合型シリコーンラバー印象材と比較して付加型シリコーンラバー印象材の特徴はどれか。
a　硬化時間が長い。
b　寸法変化が小さい。
c　弾性ひずみが大きい。
d　室温の影響を受けない。

選択肢考察　　答え　b

×a　付加型の硬化時間は 3 ～ 7 分、縮合型は 6 ～ 10 分である。付加型の硬化時間は短い。
○b　経時的な寸法変化が小さいのが付加型シリコーンラバー印象材の最大の特徴である。
×c　弾性ひずみはともに 2.0 ～ 4.0%で小さい。
×d　ゴム質印象材の中でシリコーンラバー印象材の硬化時間は室温の影響を最も受けやすい。

〔問題 49〕　65 歳の男性。下顎舌側の腫瘤を訴えて来院した。30 年前から気付いていたという。腫瘤は正常粘膜で被覆されており、骨様硬で疼痛はない。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.7）を別に示す。
考えられるのはどれか。
a　線維腫
b　下顎隆起
c　エナメル上皮腫
d　ガマ腫〈ラヌーラ〉

別冊 午後 No.7

選択肢考察　　答え　b

×a　線維腫は結合組織細胞と結合組織線維によって構成される弾性軟の良性腫瘍である。
○b　下顎隆起は下顎舌側にみられる正常粘膜で被覆された骨様硬の腫瘤である。
×c　エナメル上皮腫とは下顎臼歯部に好発する良性の歯原性上皮性腫瘍である。顎骨内で緩慢に発育し、頬舌側の無痛性膨隆を特徴とし、羊皮紙様感や波動を呈する。
×d　ガマ腫〈ラヌーラ〉とは顎下腺や舌下腺からの唾液の流出障害により引き起こされる口底部に生じる大きな粘液嚢胞である。

〔問題 50〕　末梢性顔面神経麻痺の症状はどれか。2 つ選べ。
a　麻痺性兎眼
b　口唇知覚麻痺
c　鼻唇溝の消失
d　バレーの 3 圧痛点

選択肢考察　　答え　a c

○a、○c　末梢性顔面神経麻痺の症状には、片側性の仮面様顔貌、麻痺性兎眼、鼻唇溝の消失、口角下垂、口蓋帆〈軟口蓋〉下垂、口笛不能（＝唇音の構成障害）、唾液・涙・汗などの分泌障害、味覚障害などがある。
×b　上唇知覚麻痺は三叉神経第 2 枝の上顎神経麻痺、下唇知覚麻痺は三叉神経第 3 枝の下顎神経の枝である下歯槽神経麻痺、オトガイ神経麻痺が原因である。
×d　バレーの 3 圧痛点〈眼窩上孔、眼窩下孔、オトガイ孔の圧痛〉は三叉神経痛でみられる。

〔問題 51〕　抜歯後のドライソケットの特徴はどれか。2 つ選べ。
a　瘻孔の形成を伴う。
b　鋭い接触時痛を伴う。
c　異常出血を繰り返す。
d　窩壁の骨面が触知できる。

選択肢考察　　答え　b d

×a　瘻孔の形成を伴うのは辺縁性歯周炎や根尖性歯周炎が原因で膿瘍がみられる場合である。

○b、○d　抜歯後３日目以降に再び疼痛が発現した場合はドライソケットを疑う。ドライソケットとは抜歯窩内に血餅が形成されず、窩壁の骨面が触知でき、強い接触時痛を伴う。
×c　抜歯後異常出血の原因は抜歯窩内の炎症性肉芽組織の取り残しである。

〔問題 52〕　インプラント埋入窩形成中の口腔内写真（別冊午後 No.8）を別に示す。
矢印で示す器具の目的はどれか。
a　埋入窩の形成
b　埋入窩の止血
c　印象採得の準備
d　埋入方向の確認

別冊 午後 No.8

選択肢考察　　答え　d

×a、×b、×c、○d
矢印の器具は方向指示棒である。文字どおりインプラントの埋入方向を確認するために使用する。

〔問題 53〕　初診時の口腔模型の写真（別冊午後 No.9）を別に示す。
Angle の分類はどれか。
a　Ⅰ　級
b　Ⅱ級１類
c　Ⅱ級２類
d　Ⅲ　級

別冊 午後 No.9

選択肢考察　　答え　b

×a　Ⅰ級は上下顎歯列弓が正常な近遠心的関係にある不正咬合である。
○b　Ⅱ級１類は下顎歯列弓が上顎歯列弓に対して遠心にあり、上顎前歯が前突しているものである。写真の症例はⅡ級１類である。
×c　Ⅱ級２類は下顎歯列弓が上顎歯列弓に対して遠心にあり、上顎前歯が後退しているものである。
×d　Ⅲ級は下顎歯列弓が上顎歯列弓に対して近心にあるものである。

〔問題 54〕　矯正装置の写真（別冊午後 No.10）を別に示す。
この矯正装置の作用する矯正力で正しいのはどれか。２つ選べ。
a　器械的
b　持続的
c　慢能的
d　間欠的

別冊 午後 No.10

選択肢考察　　答え　c d

アクチバトール

×a、×b、○c、○d
写真の矯正装置はアクチバトールである。したがって、その矯正力は機能的であり、間欠的である。

〔問題 55〕　17 歳の男子。動的治療中に装置の調整のために来院した。矯正装置にアーチワイヤーを装着したときの口腔内写真（別冊午後 No.11）を別に示す。
矢印の位置でアーチワイヤーを口腔内で切断するのに適している器具はどれか。
a　ワイヤーカッター
b　ライトワイヤープライヤー
c　ディスタルエンドカッター
d　ピンアンドリガチャーカッター

別冊 午後 No.11

選択肢考察　　答え　c

×a　ワイヤーカッターはワイヤーの切断に使用するが、アーチワイヤーの遠心端を口腔内で切断するのに適していない。
×b　ライトワイヤープライヤーはカッターが付与されているものがあるが、アーチワイヤーの遠心端を口腔内で切断するのに適していない。
○c　ディスタルエンドカッターはアーチワイヤーの遠心端を口腔内で切断するのに適している。
×d　ピンアンドリガチャーカッターはリガチャーワイヤーなどの切断に用いるが、アーチワイヤーの遠心端を口腔内で切断するのに適していない。

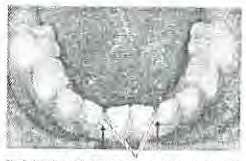
〔問題 56〕　６か月の乳児で、保護者の情報から発達の遅れが推測されるのはどれか。
a　首が座らない。
b　歯が生えてこない。
c　はいはいができない。
d　つかまり立ちができない。

選択肢考察　　答え　a
○a　３～４か月ころに首が座るため、６か月の乳児で首が座らないのは発達の遅れが推測される。
×b　歯が生えてくるのは日本人では８か月ころである。
×c　はいはいができるのは８～９か月ころである。
×d　つかまり立ちができるのは 10 か月ころである。

〔問題 57〕　５歳の女児。歯並びが気になることを主訴として来院した。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.12）を別に示す。
矢印で示す空隙ができる原因はどれか。
a　乳歯の先天欠如
b　顎骨の成長発育
c　対顎乳犬歯との咬合
d　下唇小帯の異常発育

別冊 午後 No.12

選択肢考察　　答え　b

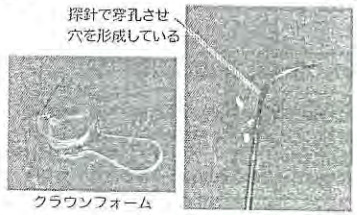

下顎の乳中切歯と乳側切歯との間に空隙がみられる

×a　口腔内写真から乳歯の先天欠如はみられない。
○b　矢印の空隙を発育空隙といい、顎骨の成長発育が原因で生じる。
×c　対顎乳犬歯と咬合するのは下顎の乳犬歯と第一乳臼歯との間であり、この部位の空隙を霊長空隙という。
×d　下唇小帯の異常発育はみられない。

〔問題 58〕　４歳の男児。う蝕の治療を希望して来院した。上顎乳前歯の多歯面う蝕と診断され、コンポジットレジン冠修復を行うこととした。治療に用いる器材（別冊午後 No.13A）と使用器材に対して処理した写真（別冊午後 No.13B）を別に示す。
この処理の目的はどれか。２つ選べ。
a　切縁の位置確認
b　気泡の混入防止
c　試適時の落下防止
d　余剰レジンの流出

別冊 午後 No.13A、B

選択肢考察　　答え　b d



×a　切縁の位置確認のために穴を開けているわけではない。
○b、○d　クラウンフォームの切縁側に穴をあけることで、クラウンフォームに入れるレジンに気泡が混入することを防止でき、また、余剰レジンを流出させることができる。
×c　試適時の落下防止のために穴を開けているわけではない。

〔問題 59〕　83 歳の男性。上顎右側第一小臼歯の疼痛を主訴として来院した。化膿性歯髄炎と診断され、抜髄処置を行うこととした。患者は多発性脳梗塞の影響で体位の保持が困難である。処置中の写真（別冊午後 No.14）を別に示す。
矢印で示す器具の目的はどれか。
a　破折防止
b　穿孔防止
c　誤飲防止
d　感染防止

別冊 午後 No.14

選択肢考察　　答え　c

×a、×b、○c、×d
化膿性歯髄炎の処置として抜髄を行うこととなっておりファイルを使用するが、多発性脳梗塞の影響で体位の保持が困難であり、器具を誤飲するおそれがある。ファイルに付いている矢印の器具の目的は誤飲防止である。

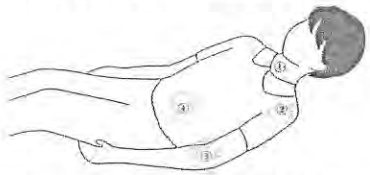
〔問題 60〕　経鼻経管栄養の特徴として正しいのはどれか。２つ選べ。
a　嚥下機能を阻害する。
b　６週以上の留置が可能である。
c　消化管粘膜の萎縮を予防できる。
d　留置のための外科的手術が必要である。

選択肢考察　　答え　a c
○a　経鼻経管により嚥下機能を阻害する。
×b　経鼻経管の使用は一般的に６週未満であり、６週以上のときは胃瘻・腸瘻を選択する。
○c　経鼻経管栄養は腸を使用するため、消化管粘膜の萎縮やバクテリアトランスロケーションを予防できる。
×d　留置のための外科的手術が必要なのは胃瘻・腸瘻である。

〔問題 61〕　小児と障害児者が対象の歯科診療で、写真や絵カードなどを応用する行動調整法はどれか。
a　カウント法
b　TEACCH 法
c　シェイピング法
d　フラッディング法

選択肢考察　　答え　b
×a　カウント法は、短時間しか我慢できない患児に対し、あらかじめ約束した時間をカウントしながら、歯科診療への対応行動を育てていく方法である。
○b　TEACCH 法は、自閉性障害のある患児に対し、写真や絵カードなどを応用し、目でみてわかりやすくする方法である。
×c　シェイピング法は、目標となる行動を段階的にスモールステップにわけて設定し、１つずつステップアップしながら目標行動をできるようにする方法である。
×d　フラッディング法は、いくら説明したりトレーニングしたりしても、想像上の不安や恐怖を克服できないときに、強引に恐怖刺激に直面させて恐怖感を解消させる方法である。

〔問題 62〕 6歳の男児。う蝕の治療を希望して来院した。知的障害があり協力が得られず、拒否行動があるため、診査時に徒手抑制することとした。患者身体の模式図を示す。



徒手抑制してはいけない部位はどれか。2つ選べ。
a ①　b ②　c ③　d ④

選択肢考察　　答え a d
× a 首（①）を徒手抑制してはいけない。
○ b、○ c 徒手抑制では肩（②）と腕（③）をコントロールする。
× d 腹（④）を徒手抑制してはいけない。

〔問題 63〕 3歳児歯科健康診査でう蝕罹患型がO型と判定された幼児に対するう蝕予防法で適切なのはどれか。2つ選べ。
a フッ化物洗口
b フッ化物歯面塗布
c フッ化ジアンミン銀塗布
d フッ化物配合歯磨剤の利用

選択肢考察　　答え b d
× a フッ化物洗口は一般的に4歳以降に行うものであり、3歳児には適切でない。
○ b、○ d う蝕罹患型がO型と判定されており、う蝕がない3歳児であるとわかる。したがって、う蝕予防法としてフッ化物歯面塗布やフッ化物配合歯磨剤の利用が適切である。
× c フッ化ジアンミン銀塗布は乳歯う蝕に用いるものであり、う蝕がないO型の幼児には適切でない。

〔問題 64〕 喫煙者の歯肉の特徴はどれか。2つ選べ。
a 出血傾向
b 浮腫性の腫脹
c 歯肉組織の線維化
d メラニン色素の沈着

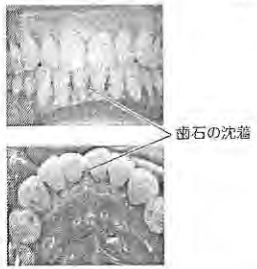
選択肢考察　　答え c d
× a 喫煙者はタバコの影響で歯肉の血流が低下しており、出血しにくい。
× b、○ c 喫煙者の歯肉では歯肉組織の線維化が生じるため、浮腫性ではなく線維性の腫脹がみられる。
○ d 喫煙者の歯肉ではメラニン色素の沈着が特徴である。

次の文を読み、〔問題 65〕、〔問題 66〕に答えよ。
45歳の男性。口臭とブラッシング時の出血を主訴として来院した。ペースメーカーを装着している。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.15）を別に示す。

別冊 午後 No.15

〔問題 65〕 この日に行う適切な検査順序はどれか。
① BOP
② 歯の動揺度
③ O'Leary の PCR
④ プロービングデプス
a ③ → ④ → ② → ①
b ④ → ① → ② → ③
c ② → ① → ④ → ③
d ① → ② → ③ → ④

選択肢考察　　答え b



× a、○ b、× c、× d
口臭とブラッシング時の出血を主訴としているため、初診時の検査としては、まずプロービングデプスを測定し、その際の出血（BOP）を検査する。続いて歯の動揺度を検査し、最後に O'Leary の PCR により口腔清掃状態を把握するとよい。したがって、④→①→②→③が適切である。

〔問題 66〕 口腔衛生指導を実施し、1か月後に O'Leary の PCR が 20% 以下となった。処置を開始するよう歯科医師から指示された。
使用するのはどれか。2つ選べ。
a フッ化物塗布溶液
b 超音波スケーラー
c シュガーマンファイル
d ユニバーサルキュレット

選択肢考察　　答え a d
○ a、× b、○ d O'Leary の PCR が 20% 以下となったため、スケーリング・ルートプレーニングを行なっていくとよい。ペースメーカーを装着しているため、超音波スケーラーは使用しない。ユニバーサルキュレットは適切である。スケーリング・ルートプレーニング後にはフッ化物塗布溶液を露出根面に塗布するとよい。
× c シュガーマンファイルは骨外科処置に用いる。

〔問題 67〕 歯周プローブを用いて評価するのはどれか。2つ選べ。
a GI
b OHI
c GB Count
d PMA Index

選択肢考察　　答え a c
○ a GI は歯肉炎を評価するものであり、歯周プローブを用いる。
× b OHI は口腔清掃状態を評価するものであり、プラークと歯石の付着・沈着面積を観察する。
○ c GB Count は歯肉と歯槽骨を評価するものであり、歯周プローブを用いる。

× d PMA Index は歯肉炎を評価するものであるが、器具は使用しない。

〔問題 68〕 57歳の女性。歯周病の治療を希望して来院し、8か月間の治療を行った。初診時と歯周基本治療終了時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

（初診時）

唇側*	⑤	4	④	⑤	3	①
歯槽	1			1		
口蓋側*	⑤	③	⑤	①	3	⑤
動揺度	1			0		

（歯周基本治療終了時）

唇側*	3	2	3	3	3	2
歯槽	1			1		
口蓋側*	3	2	2	2	2	3
動揺度	1			0		

*：プロービングデプス(mm)
○印：プロービング時の出血

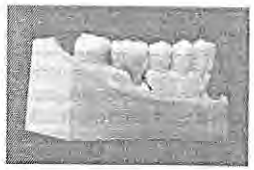
治療後の変化で考えられるのはどれか。2つ選べ。
a 咬合性外傷の改善
b アタッチメントロス
c プロービングデプスの減少
d 歯周ポケット内の炎症の消失

選択肢考察　　答え c d
× a 咬合性外傷では動揺度が増加する。治療後に動揺度の変化がみられないため、咬合性外傷の改善は考えられない。なお、動揺度だけで咬合性外傷の診断はできない。
× b プロービングデプスの変化のみでアタッチメントロスは判断できない。また、歯周基本治療を行なってアタッチメントロスが生じるとは考えにくい。
○ c 初診時と歯周基本治療終了時の検査結果を比較すると、プロービングデプスの減少は明らかである。
○ d 歯周基本治療でプロービングデプスが減少し、BOP もみられないため、歯周ポケット内の炎症の消失が考えられる。

〔問題 69〕 模型の写真（別冊午後 No.16）を別に示す。
矢印の頬側部位に使用するグレーシータイプキュレットはどれか。
a #11
b #12
c #13
d #14

別冊 午後 No.16

選択肢考察　　答え a



○ a 矢印の部位は下顎右側第一大臼歯近心根近心面であり、その頬側部位にはグレーシータイプキュレット #11 が適している。
× b #12 は下顎右側第一大臼歯近心根近心面の舌側部に適している。
× c #13 は下顎右側第一大臼歯の遠心面舌側部に適している。
× d #14 は下顎右側第一大臼歯の遠心面頬側部に適している。

〔問題 70〕 グレーシータイプキュレットのシャープニングで［　］に入る組合せで正しいのはどれか。
キュレットの内面を床に平行にし、砥石を刃部の側面に［①］度傾けて合わせ、刃部内面と砥石のなす角度を［②］度にする。また、砥石は［③］cm 程度の幅で上下運動させる。

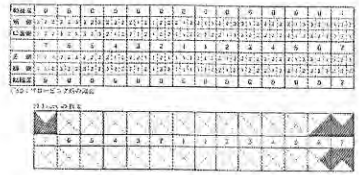
	①	②	③
a	30 ～ 40	100 ～ 110	2
b	10 ～ 20	80 ～ 90	5
c	10 ～ 20	100 ～ 110	2
d	30 ～ 40	80 ～ 90	5

選択肢考察　　答え c
× a、× b、○ c、× d
グレーシータイプキュレットのシャープニングでは、キュレットの内面を床と平行にし、砥石を刃部の側面に 10 ～ 20 度傾けて合わせ、刃部内面と砥石のなす角度を 100 ～ 110 度にする。また、砥石は 2 cm 程度の幅で上下運動させる。したがって、c が正しい。

〔問題 71〕 64歳の女性。歯周基本治療後の再評価の結果（別冊午後 No.17）を別に示す。
メインテナンスに移行する基準を満たしていないのはどれか。2つ選べ。
a BOP
b 動揺度
c O'Learyc の PCR
d プロービングデプス

別冊 午後 No.17

選択肢考察　　答え a b



× a、× b、○ c、○ d
歯周治療により治癒した症例でメインテナンスに移行する。治癒の基準として、歯肉の炎症がなく、歯周ポケットは 3mm 以下、プロービング時の出血がない、歯の動揺は生理的範囲とされている。再評価の結果をみると、BOP と動揺度はメインテナンスに移行する基準を満たしていない。

〔問題 72〕 う蝕活動性試験の具備すべき条件はどれか。2つ選べ。
a 判定時間が短い。
b 結果の再現性がある。
c う蝕の原因菌を特定できる。
d 操作に特殊な技術を要する。

選択肢考察　　答え a b
○ a う蝕活動性試験の具備すべき条件として、判定時間が短いことが挙げられる。
○ b う蝕活動性試験の具備すべき条件として、結果の再現性があることが挙げられる。
× c う蝕の原因菌を特定できることは、う蝕活動性試験の具備すべき条件でない。

×d　操作に特殊な技術を要することは、う蝕活動性試験の具備すべき条件でない。

〔問題 73〕 乳歯の萌出が完了した直後の幼児へ用いるフッ化物歯面塗布液の量はどれか。
a　2mL
b　3mL
c　4mL
d　5mL

選択肢考察　　答え　a
○a、×b、×c、×d
フッ化物歯面塗布に用いられるフッ化物溶液の平均は1人あたり2mLとされており、2mL以下のフッ化物溶液を用いる。なお、乳歯の萌出が完了した直後の幼児を、およそ体重15kgの3歳児とすると、悪心・嘔吐が発現する2%フッ化ナトリウム溶液は3.3mLとなる。

〔問題 74〕 12歳の男児。う蝕予防処置を目的に来院した。永久歯は第二大臼歯を除いてすべて萌出している。フッ化物歯面塗布を行うことになった。
この時期にフッ化物の効果が最も高いのはどれか。
a　中切歯
b　側切歯
c　第二小臼歯
d　第一大臼歯

選択肢考察　　答え　c
×a、×b、○c、×d
フッ化物歯面塗布はフッ化物の取り込み量が多い萌出直後の歯に効果的である。したがって、第二大臼歯を除いたすべての永久歯が萌出している12歳児のフッ化物歯面塗布で最も効果的なのは第二小臼歯である。

〔問題 75〕 グラスアイオノマーセメントによる小窩裂溝填塞の術式で**誤っている**のはどれか。
a　歯面清掃
b　咬合調整
c　リン酸処理
d　ラバーダム防湿

選択肢考察　　答え　c
○a　グラスアイオノマーセメントによる小窩裂溝填塞を行うにあたり、歯面清掃は適切である。
○b　グラスアイオノマーセメントによる小窩裂溝填塞を行った後、咬合調整を行うのは適切である。
×c　リン酸処理はグラスアイオノマーセメントによる小窩裂溝填塞では行わない。レジン系小窩裂溝填塞材を用いる際に行う。
○d　グラスアイオノマーセメントによる小窩裂溝填塞を行うにあたり、ラバーダム防湿は適切である。

〔問題 76〕 [　　] に入る組合せで正しいのはどれか。
フッ化物洗口は [①] mL の洗口液で約 [②] 秒間洗口する。洗口後 [③] 分間は、うがいや飲食を控える。

	①	②	③
a	1～2	10	40
b	5～10	30	30
c	1～2	40	20
d	5～10	60	10

選択肢考察　　答え　b
×a、○b、×c、×d
フッ化物洗口は5～10mLの洗口液で約30秒～1分間洗口する。洗口後30分間はうがいや飲食を控える。したがって、bが正しい。

〔問題 77〕 5歳児の保護者に対して効果的なフッ化物配合歯磨剤の使用について説明することになった。
適切な使用法はどれか。2つ選べ。
a　洗口は3回する。
b　50mLの水で洗口する。
c　磨く前に歯面全体に広げる。
d　500ppmFのものを使用する。

選択肢考察　　答え　cd
×a　フッ化物配合歯磨剤を使用した後の洗口は1回する。
×b　フッ化物配合歯磨剤を使用した後は10～15mLの水で洗口する。
○c　フッ化物配合歯磨剤を使用する際には、磨く前に歯磨剤を歯面全体に広げるのがよい。
○d　フッ化物配合歯磨剤のフッ化物イオン濃度は5歳児では500ppmFのものを使用するのがよい。

〔問題 78〕 小児の成長に伴う情動発達で正しいのはどれか。2つ選べ。
a　反応が多様化する。
b　持続時間が長くなる。
c　個人差が少なくなる。
d　行動からの推測が容易になる。

選択肢考察　　答え　ab
○a　小児の成長に伴い、反応は多様化する。
○b　小児の成長に伴い、持続時間は長くなる。
×c　小児の成長に伴い、個人差は多くなる。
×d　小児の成長に伴い、行動からの推測は困難になる。

〔問題 79〕 ある事業所で40～50歳の特定保健指導の対象となった社員50名に対して、産業医の総評のあと、歯科衛生士が30分ほど講話をすることになった。
講話の内容として適切なのはどれか。2つ選べ。
a　低栄養の予防
b　定期的な歯科受診
c　サルコペニアの予防
d　歯周病と医科疾患の関連性

選択肢考察　　答え　bd
×a　特定保健指導の対象はメタボリックシンドロームのため、講話の内容として低栄養の予防は適切ではない。
○b、○d　特定保健指導の対象はメタボリックシンドロームである。メタボリックシンドロームは生活習慣病であり、歯周病も生活習慣病であるため、定期的な歯科受診や歯周病と医科疾患の関連性は講話の内容として適切である。
×c　特定保健指導の対象はメタボリックシンドロームのため、講話の内容としてサルコペニアの予防は適切ではない。

〔問題 80〕 88歳の女性。硬いものが噛めないことを主訴として家族から往診を依頼された。5年前に脳梗塞を発症し、屋内での生活は息子夫婦からの介助を必要としている。日中はベッド上での生活が主体であるが、座位は保てるという。介助により車椅子への移乗は可能である。
障害高齢者日常生活自立度はどれか。
a　J1
b　A1
c　B2
d　C2

選択肢考察　　答え　c
×a　ランクJは何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。J1は交通機関などを利用して外出する。
×b　ランクAは屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。A1は介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。
○c　ランクBは屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。B2は介助により車いすに移乗する。
×d　ランクCは1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。C2は自力では寝返りもうたない。

〔問題 81〕 咀嚼機能で正しいのはどれか。2つ選べ。
a　胃腸の蠕動運動を活発化する。
b　基本的機能は離乳期に獲得される。
c　上下顎の蝶番運動によって営まれる。
d　喪失歯の増加に伴い咀嚼力は増大する。

選択肢考察　　答え　ab
○a　咀嚼は胃腸の蠕動運動を活発化する。
○b　咀嚼の基本的機能は離乳期に獲得される。
×c　咀嚼は咀嚼筋による顎運動〈咀嚼運動〉である。
×d　喪失歯の増加に伴い咀嚼力は低下する。

〔問題 82〕 要介護高齢者に対してベッド上で口腔ケアを行う際の注意点で適切なのはどれか。2つ選べ。
a　誤嚥防止のため水平位で行う。
b　側臥位で麻痺側を下にして行う。
c　口腔清掃の自立度に応じて支援する。
d　口腔粘膜の傷つきやすさに留意して行う。

選択肢考察　　答え　cd
×a　要介護高齢者に対してベッド上で口腔ケアを行う際は、誤嚥防止のためファーラ位で行う。
×b　要介護高齢者に対してベッド上で口腔ケアを行う際は、側臥位で麻痺側を上（健側を下）にして行う。
○c　要介護高齢者に対してベッド上で口腔ケアを行う際は、口腔清掃の自立度に応じて支援する。
○d　要介護高齢者に対してベッド上で口腔ケアを行う際は、口腔粘膜の傷つきやすさに留意して行う。

〔問題 83〕 乳幼児期と保健管理の組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。
a　7～8か月 ―― 口の中を触れることに慣れさせる。
b　1歳6か月 ―― 指しゃぶりの習慣をやめさせる。
c　3　歳 ―― 日常の歯磨きが自立する。
d　5　歳 ―― 食生活を含めた口腔管理が必要になる。

選択肢考察　　答え　ad
○a　7～8か月は口の中を触られることに慣れさせる。
×b　1歳6か月は卒乳〈離乳完了〉の時期で、寝る前の歯磨きを習慣化していく。
×c　3歳は幼児自身で磨く練習を開始し、母親が仕上げ磨きを行う。
○d　5歳は食生活を含めた口腔管理が必要である。

〔問題 84〕 口腔粘膜の保湿効果を高める目的で、ジェルの使用が必要なのはどれか。2つ選べ。
a　悪阻の強い妊娠初期の患者
b　亜急性期の脳血管疾患患者
c　一部介助の軽度認知症患者
d　放射線・化学療法中の舌腫瘍患者

選択肢考察　　答え　bd
×a　悪阻の強い妊娠初期の患者では口腔乾燥は少ない。
○b　亜急性期の脳血管疾患患者では唾液分泌障害により口腔乾燥がみられることがあるため、口腔粘膜の保湿効果を高める目的で、ジェルの使用が必要である。
×c　一部介助の軽度認知症患者では口腔乾燥は少ない。
○d　放射線・化学療法中の舌腫瘍患者では副作用として口腔乾燥がみられることがあるため、口腔粘膜の保湿効果を高める目的で、ジェルの使用が必要である。

〔問題 85〕 73歳の女性。食道癌の診断で術前化学療法を行うため、支持療法として周術期口腔衛生管理の依頼があった。化学療法は2クール実施される予定である。
化学療法後に起こりうる口腔内の有害事象はどれか。2つ選べ。
a　舌の麻痺
b　味覚の変化
c　唾液分泌量の増加
d　口腔粘膜炎による疼痛

選択肢考察　　答え　bd
×a　化学療法後に起こりうる口腔内の有害事象として舌の麻痺は考えにくい。
○b　化学療法後に起こりうる口腔内の有害事象として味覚の変化は考えられる。
×c　化学療法後に起こりうる口腔内の有害事象として唾液分泌量の減少による口腔乾燥は考えられる。
○d　化学療法後に起こりうる口腔内の有害事象として口腔粘膜炎による疼痛は考えられる。

〔問題 86〕 幼稚園のプレイルームで保護者40名を対象に、歯科衛生士1名が15分の歯科保健指導を行うことになった。
適切なのはどれか。
a　スライドを用いた講話
b　聞き取りによる問題抽出
c　ペープサートを用いた演劇
d　歯ブラシを使った全員参加型の指導

選択肢考察　　答え　a
○a　対象者が保護者40名であり、時間が15分ということから、スライドを用いた講話が適切である。
×b　15分で40名の聞き取りを行い、問題を抽出することは困難である。
×c　対象者が保護者のため、ペープサート〈紙芝居〉を用いた演劇は適切でない。
×d　対象者が保護者のため、歯ブラシを使った全員参加型の指導は適切でない。

〔問題 87〕 歯科衛生士が行う居宅療養管理指導で正しいのはどれか。2 つ選べ。
a 医療保険で実施する。
b 居宅サービス計画に基づいて実施する。
c 通院可能な患者も利用することができる。
d 摂食嚥下機能に関する実地指導を行うことができる。

選択肢考察　　答え bd
×a 歯科衛生士が行う居宅療養管理指導は介護保険で実施する。
○b 歯科衛生士が行う居宅療養管理指導は居宅サービス計画に基づいて実施する。
×c 歯科衛生士が行う居宅療養管理指導は通院可能な患者は利用できない。
○d 歯科衛生士が行う居宅療養管理指導は口腔清掃指導だけでなく、摂食嚥下機能に関する実地指導を行うことができる。

〔問題 88〕 特別用途食品はどれか。2 つ選べ。
a 病者用食品
b 栄養機能食品
c 機能性表示食品
d 特定保健用食品

選択肢考察　　答え ad
○a、○d 特別用途食品には病者用食品（個別基準型、許可基準型：低たんぱく質食品、アレルゲン除去食品、無乳糖食品、総合栄養食品）、妊産婦・授乳婦用粉乳、乳児用調整粉乳、えん下困難者用食品、特定保健用食品がある。
×b、×c 保健機能食品には、特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品がある。

〔問題 89〕 3 歳の男児の保護者へ食生活指導を行うこととなった。ある日の男児の食事記録を示す。

時刻	食べたものと量
朝食　8 時	食パン：1/5、牛乳：コップ 1 杯
10 時	リンゴ：1/3 個、牛乳：コップ 1 杯
11 時	ミニゼリー：2 個、菓子パン：1/5
14 時	100 % オレンジジュース：コップ 1 杯
17 時	菓子パン：1/5
夕食　18 時	うどん：1/5、バナナ：1 本
20 時	チョコレート：6 片

※食物量は同年代の平均摂取量を 1 とする。

指導内容で適切なのはどれか。2 つ選べ。
a 手づかみ食べを基本にする。
b 間食の回数と量を制限する。
c 朝昼夕の食事を基本に改善する。
d 飲料をスポーツドリンクに変更する。

選択肢考察　　答え bc
×a 手づかみ食べを基本とするのは生後 12 か月～ 18 か月であり、3 歳児には適切でない。
○b 朝食と夕食間に間食が 4 回、夕食後にも間食が 1 回あるため、間食の回数と量を制限する必要がある。
○c 昼食を食べていないことから間食が多くなっていると考えられるため、朝昼夕の食事を基本に改善する必要がある。
×d 飲料は牛乳コップ 1 杯と 100 % オレンジジュースコップ 1 杯のため、スポーツドリンクに変更する必要はない。

〔問題 90〕 72 歳の女性。パーキンソン病による精神と身体の活動低下があるが介助自活は可能で、前屈姿勢の症状がみられる。咽頭嚥下機能に異常は認められない。家族が食事の介助をしている写真（別冊午後 No.18）を別に示す。
家族に対する適切な指導はどれか。2 つ選べ。
a なるべく患者自身で食べるように促す。
b 介助者は前傾姿勢で見守るようにする。
c 食べこぼしを防止するためにテーブルを離す。
d 頸部を前屈する目的で食器を低い位置に置く。

別冊 午後 No.18

選択肢考察　　答え ad

○a パーキンソン病であるが介助自活は可能なため、なるべく患者自身で食べるように促す。
×b 90 度座位で食事をさせるため、介助者が前傾姿勢で見守る必要はない。
×c 食べこぼす可能性があるため、テーブルを近づける必要がある。
○d 写真では頸部が前屈しておらず、食器の位置が高いため、頸部を前屈する目的で食器を低い位置に置く。

〔問題 91〕 80 歳の男性。2 週前に下顎全部床義歯を紛失した。上顎には 14 本の歯を有し、普段の食事の飲み込みには問題ないという。
摂食嚥下の過程で影響がある時期はどれか。
a 先行期
b 準備期
c 口腔期
d 咽頭期

選択肢考察　　答え b
×a 先行期は食物を視覚や嗅覚が特殊感覚として、触圧覚が物理的性質の情報として上位脳に送る時期である。
○b 準備期は食物を口腔に取り込み、咀嚼して食塊を形成する時期である。下顎全部床義歯を紛失しているため咀嚼困難と考えられる。
×c 口腔期は咀嚼後の食塊を咽頭へ送り出す時期である。
×d 咽頭期は食塊が口峡を通過してから咽頭を経て後端が食道入口部を通過するまでの時期である。

〔問題 92〕 76 歳の男性。食後よくむせることを主訴として来院した。1 年前に脳血管疾患を発症したという。摂食嚥下機能障害と診断され、リハビリテーションを行うことになった。
適切な代償的アプローチはどれか。
a 食前に口腔周囲筋強化訓練を行う。
b 摂食時の姿勢は 45 度仰臥位をとる。
c 食物形態を噛みごたえのあるものにする。
d 頸部の過伸展を防ぐためコップの縁を切る。

選択肢考察　　答え b
×a 食前の口腔周囲筋強化訓練は治療的アプローチである。
○b 食後よくむせることから誤嚥が疑われ、1 年前に脳血管疾患を発症していることから、摂食時の姿勢は 45 度仰臥位〈ファーラ位〉をとり、誤嚥を予防する。
×c 食物形態を噛みごたえのあるものにする必要はなく、誤嚥予防食を選択する。
×d 頸部の過伸展を防ぐためコップの縁を切る必要はない。誤嚥を予防するため頸部は前屈させる。

〔問題 93〕 反復唾液嚥下テストの判定時間はどれか。
a 5 秒間
b 15 秒間
c 30 秒間
d 60 秒間

選択肢考察　　答え c
×a、×b、○c、×d
反復唾液嚥下テスト〈RSST〉は被検者を座位にし、検査者は被検者の喉頭隆起および舌骨相当部に指腹を軽くあて、被検者に「終了というまでできるだけ、何度も唾を飲み込んで〈空嚥下〉ください」と説明する。喉頭隆起が指腹を乗り越え上前方部に移動し、もとの位置に戻った時点を 1 回として数え、この運動を 30 秒間触診してその間の嚥下回数を観察値とする。

〔問題 94〕 34 歳の女性。むせることを主訴として保護者と来院した。脳性麻痺との診断があり、幼少期から刻み食を食べていたが、2 か月前からむせるという。口腔内に特に病変はない。食事の評価の写真（別冊午後 No.19）を別に示す。
矢印が示す検査でわかるのはどれか。2 つ選べ。
a 誤　嚥
b 咀　嚼
c 嚥下音
d 食塊残留

別冊 午後 No.19

選択肢考察　　答え ac

頸部聴診法

○a 写真は頸部聴診法であり、嚥下直後の呼吸音で泡立ち音〈bubbling sound〉やむせに伴う喀出音、喘鳴様呼吸音が聴取されるときに誤嚥が疑われる。
×b、×d 頸部聴診法では咀嚼や食塊残留はわからない。
○c 頸部聴診法では、長い嚥下音や弱い嚥下音、複数回の嚥下音がわかる。

〔問題 95〕 重度心身障害児の摂食機能療法で、食環境指導はどれか。
a 増粘剤の使用
b 水分摂取指導
c 食直後の臥床指導
d 座位保持椅子の使用

選択肢考察　　答え d
×a、×b 増粘剤の使用や水分摂取指導は食内容指導である。
×c 胃食道逆流による誤嚥を防止するため、食直後すぐに臥床しないように指導する。
○d 食環境指導は患者の食べる意欲を引き出すような対応と安心して安全に食べられる環境を設定することであり、座位保持椅子の使用は食環境指導である。

〔問題 96〕 診療前の検査項目と測定値の組合せで異常値を示すのはどれか。2 つ選べ。
a SpO_2 ――― 90%
b 脈拍数 ――― 120 回 / 分
c 腋窩温度 ――― 36.9℃
d 収縮期血圧 ――― 126mmHg

選択肢考察　　答え ab
×a 経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO_2〉の基準値は 96% 以上である。95% 以下では低酸素症となる。
×b 脈拍数の基準値は成人で 60 ～ 80 回 / 分である。
○c 腋窩温度の基準値は 35.5 ～ 37℃である。
○d 収縮期血圧の基準値は 130mmHg 未満、拡張期血圧の基準値は 85 mmHg 未満である。

〔問題 97〕 スタンダードプレコーションの考え方に基づいているのはどれか。
a キュレットスケーラーを滅菌する。
b 使用済み注射針のリキャップを行う。
c 大きめのサイズのグローブを着用する。
d 血液が床にこぼれたとき水拭きをする。

選択肢考察　　答え a
○a 使用する器具は滅菌する。
×b 使用済み注射針はリキャップせずに廃棄する。
×c 大きめ、小さめのどちらでもなく、適切なサイズのグローブを着用する。
×d 血液が床にこぼれたときはグローブ、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウム処理を行う。

〔問題 98〕 滅菌法の特徴で正しいのはどれか。
a 低温プラズマ滅菌の滅菌時間は 50 分である。
b 高圧蒸気滅菌の滅菌温度は 121 ～ 134℃である。
c EOG 滅菌は滅菌後直ちに使用することができる。
d 低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌は残留毒性がある。

選択肢考察　　答え b
×a 低温プラズマ滅菌の滅菌温度は 45℃、滅菌時間は 75 分である。
○b 高圧蒸気滅菌の滅菌温度は 121 ～ 134℃、滅菌時間は 10 ～ 50 分である。
×c EOG 滅菌は残留毒性があるため、滅菌後 8 時間程度は使用できない。
×d 低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌〈LTSF 滅菌〉は毒性をもつが、アルカリ蒸気により無害化され、滅菌後直ちに使用することができる。

〔問題 99〕 酸化亜鉛ユージノールセメントの特徴はどれか。2 つ選べ。
a 歯髄の鎮静作用がある。
b 細菌の発育を抑制する。
c レジンの重合が促進される。
d 修復象牙質の形成が促進される。

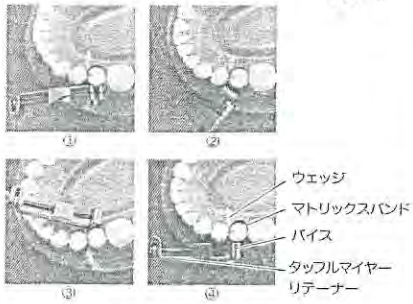
選択肢考察　　答え ab
○a、○b ユージノールには歯髄の鎮静作用、細菌の発育を抑制する作用がある。

×c　レジンの重合を阻害する。
△d　酸化亜鉛ユージノールセメントには修復象牙質（第三象牙質）の形成を促進する作用がある。

〔問題 100〕 窩洞にレジン充填を行うためリテーナーを装着した状態の模型の写真（別冊午後 No.20）を別に示す。
正しいのはどれか。
a ①　b ②　c ③　d ④

別冊 午後 No.20

選択肢考察　　答え d

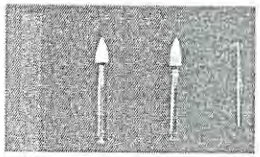


×a、×b、×c、○d
タッフルマイヤーリテーナーのバイスは患歯の歯頸部側にくるように頬側から設置する。マトリックスバンドを固定するウェッジは舌側から挿入する。

〔問題 101〕 上顎前歯V級窩洞のコンポジットレジン修復を行った。器具の写真（別冊午後 No.21）を別に示す。
仕上げ研磨に使用するのはどれか。2つ選べ。
a ①　b ②　c ③　d ④

別冊 午後 No.21

選択肢考察　　答え b c

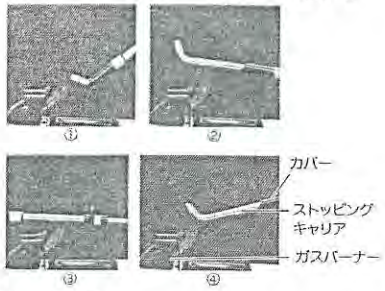


×a　①は隣接面に使用する研磨用ストリップスである。V級窩洞では使用しない。
○b　②はホワイトポイントである。仕上げ研磨に使用する。
○c　③はシリコーンポイントである。仕上げ研磨に使用する。
×d　④は仕上げ形態修正に用いるダイヤモンドポイントである。

〔問題 102〕 根管治療終了時にストッピングの準備を指示された。ストッピングキャリアの加熱を行っている写真（別冊午後 No.22）を別に示す。
正しいのはどれか。
a ①　b ②　c ③　d ④

別冊 午後 No.22

選択肢考察　　答え d

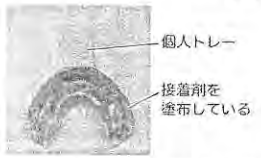


×a、×b、×c、○d
ストッピングキャリアは先端より少し根元側を加熱する。

〔問題 103〕 23歳の女性。下顎前歯部の審美障害を改善するためにオールセラミックジャケット冠を製作することになった。支台歯形成後の精密印象採得に使用するトレーの写真（別冊午後 No.23）を別に示す。
使用する印象材はどれか。
a 寒天
b 石膏
c シリコーンラバー
d 酸化亜鉛ユージノール

別冊 午後 No.23

選択肢考察　　答え c

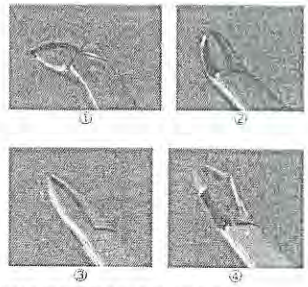


×a　寒天印象材は水冷式の専用トレーを用いる。あるいは既製トレーを用いてアルジネート印象材と連合印象を行う。
×b　印象用石膏は非弾性印象材なので有歯顎患者には使用しない。
○c　シリコーンラバー印象材を使用する場合は、写真のように個人トレーに接着剤を塗布して、精密印象採得を行う。
×d　酸化亜鉛ユージノール印象材は非弾性印象材なので有歯顎患者には使用しない。

〔問題 104〕 58歳の男性。慢性歯周炎によって上顎右側第二大臼歯の抜歯をすることになり、歯科医師から抜歯鉗子を準備するよう指示があった。器具の写真（別冊午後 No.24）を別に示す。
正しいのはどれか。
a ①　b ②　c ③　d ④

別冊 午後 No.24

選択肢考察　　答え d

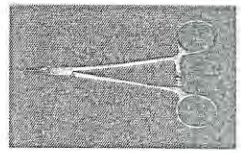


×a　①は下顎前歯用の抜歯鉗子である。
×b　②は下顎大臼歯用の抜歯鉗子である。
×c　③は上顎前歯用の抜歯鉗子である。
○d　④は上顎大臼歯用の抜歯鉗子である。

〔問題 105〕 持針器の写真（別冊午後 No.25）を別に示す。
正しいのはどれか。
a ペアン
b マチュー
c ヘガール
d モスキート

別冊 午後 No.25

選択肢考察　　答え c



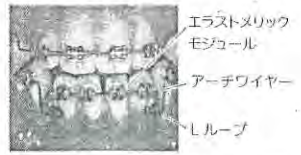
ヘガールの持針器

×a　ペアンは止血鉗子の1つである。
×b　マチュー型は持針器の1つである。
○c　写真はヘガール型の持針器である。
×d　モスキートは止血鉗子の1つである。

〔問題 106〕 マルチブラケット装置を装着した口腔内写真（別冊午後 No.26）を別に示す。
下顎のアーチワイヤーの固定に使用しているのはどれか。
a エラスティック
b エラストメリックチェーン
c エラスティックセパレーター
d エラストメリックモジュール

別冊 午後 No.26

選択肢考察　　答え d



×a　エラスティック〈ゴム〉はゴムリングである。顎間固定の際に用いることが多い。
×b　エラストメリックチェーンはマルチブラケット装置のブラケット間に装着し矯正力を発揮するものである。
×c　エラスティックセパレーターはバンド〈帯環〉装着前にバンドのスペースを確保するために隣接面に挿入するものである。
○d　エラストメリックモジュールはポリウレタン製で、ブラケットにアーチワイヤーを固定するのに用いる。

〔問題 107〕 5歳の男児。下顎左側第二乳臼歯のう蝕治療のため保護者と来院した。う蝕象牙質の除去中に露髄がみられたため、生活歯髄切断法を行うことになった。
歯髄切断後に貼付するのはどれか。
a 水酸化カルシウム
b ホルマリンクレゾール
c グラスアイオノマーセメント
d 酸化亜鉛ユージノールセメント

選択肢考察　　答え a

○a、×b、×c、×d
生活歯髄切断法の術式は、局所麻酔→ラバーダム防湿→髄室開拡→ラウンドバーで根管口の歯髄を切断→髄腔洗浄→水酸化カルシウム剤を貼付→裏層（裏層材）である。したがって、歯髄切断後に貼付するのは水酸化カルシウムである。

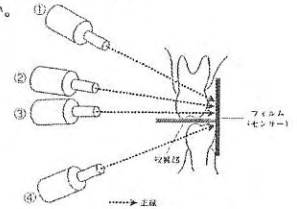
〔問題 108〕 高齢者の歯科治療時の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。
a 高い声で話す。
b 高齢者のペースに合わせる。
c 診療日の気象条件に配慮する。
d 非言語的働きかけは少なくする。

選択肢考察　　答え b c

×a　加齢による老人性難聴では高い音域が聞き取りにくくなる。そのため、低い声でゆっくり話す。
○b　高齢者のペース〈スピード〉に合わせる。
○c　診療日の気象条件に配慮し、時間にゆとりをもたせ、落ち着いた雰囲気にする。
×d　非言語的働きかけも行う。

〔問題 109〕 咬翼法の投影角度を図に示す。
正しいのはどれか。

a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察　　**答え　b**

×a、○b、×c、×d
咬翼法の投影角度は 8～10° なので②が正解である。

〔問題 110〕 一次救命処置としてまず行うのはどれか。

a 胸骨の圧迫
b 意識の確認
c 応援の要請
d 呼吸の確認

選択肢考察　　**答え　b**

×a、○b、×c、×d
一次救命処置としてまず行うのは意識の確認である。その後、応援の要請→呼吸の確認→胸骨の圧迫となる。